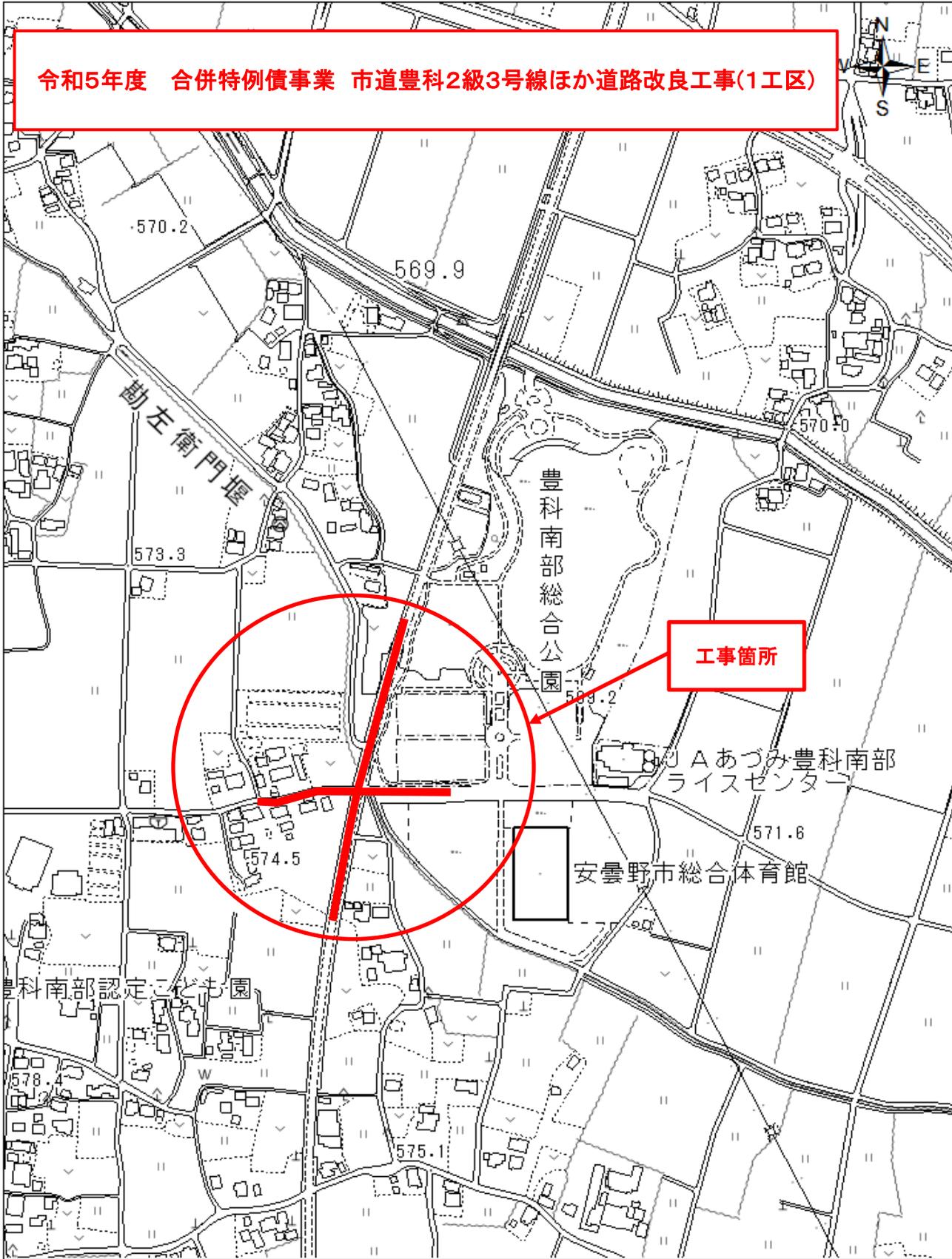


# 位置図

令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)



1:5,000

0 90 180 360 m

## 特 記 事 項

工事名：令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線ほか道路改良工事（1工区）

箇所名：安曇野市 豊科

本工の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

### 1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

### 2 工期関係

工期は、契約日から令和6年3月22日までとする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含まれている。

### 3 工程関係

本工に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

### 4 残土・廃棄物関係

(1) 本工の施工において生じる産業廃棄物及び発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

(2) 建設発生土

受入場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
松本マテリアル(株)	指定	2.5 km	

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）

参考

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等		
アスファルト塊		再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離 11.4 km
			数 量	294 ㊦	・ m <sup>3</sup>
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	清水口建設(株)	距離 3.9 km
	鉄筋 Co	再利用	数 量	74 ㊦	・ m <sup>3</sup>
			処理工場名	清水口建設(株)	距離 3.9 km
二次製品	再利用	数 量	7 ㊦	・ m <sup>3</sup>	
建設発生木材			処理工場名		距離 km
			数 量		t ・ m <sup>3</sup>

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
その他（金属くず他）		処理工場名	清水口建設株 距離 3.9 km
		数 量	1 ㊦ ・ m <sup>3</sup>

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（3）、（4）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うとともに、マニフェスト伝票（A、B2、D、E表）の写しをしゅん工書類に添付すること。（写しの添付については、初回、中間、最終を基本とする。少量の場合には、監督員と事前打ち合わせ願います。）

併せて、再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真をしゅん工書類に添付すること。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1再資源化	2破碎処理	3焼却処理	4埋立処分場	5その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名 住 所		許可番号		
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名 住 所		許可番号		
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。

安曇野市 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	上記と同様
NTT	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事への影響確 認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事への影響確 認。	関係機関指導のもと	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	関係機関指導のもと	上記と同様
関係官公庁	本工事に係ること	関係機関指導のもと	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

## (2) 個別事項

- 一 工事着手日の2週間前には、現場周辺の住民、区長、町会長、沿線地権者、耕作者へ工事通知文を提出すること。また、必要があれば関係機関への周知、協議行うこと。  
通知文は協議書で提出し決裁が済んでから周知を行うこと。
- 二 本工では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上しています。
  - (一) 実施する内容については、別紙-3の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。  
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
  - (二) (一)で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。
  - (三) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とします。  
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
  - (四) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行いません。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行います。  
なお、当初設計で計上されていた場合も、受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合などについては、費用の全額を減額するものとします。
- 三 既存杭の保全及び復元においては、請負者の責務において行うこと。  
また、復元においては、公共測量に係る作業規定の準則に基づき、精度管理を行うこと。  
なお、当該作業に要する費用においては、共通仮設費（準備費）に含まれる。
- 五 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 六 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 七 本工は、工事成績評定の対象工事です。
- 八 交差点内について、止水弁の閉栓予定があるため上水道課と協議し、指示に従うこと。
- 九 豊科1級1号線について、舗装補修工事を予定しているので維持管理課と工程を調整すること。
- 十 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議願います。



## 数 量 集 計 表

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単 位	摘 要
土工	掘削		2,200	m <sup>3</sup>	2216.1
	床掘		70	m <sup>3</sup>	65.6
	埋戻し		20	m <sup>3</sup>	22.3
	基面整正		80	m <sup>2</sup>	78.9
	残土運搬		2,260	m <sup>3</sup>	2259.4
	残土処理		2,710	m <sup>3</sup>	2711.2
舗装版取壊し工					
	アスファルト舗装版切断		154	m	154.2
	アスファルト舗装版破碎		2,556	m <sup>2</sup>	2555.8
	アスファルト運搬		128	m <sup>3</sup>	127.8
	アスファルト処分		294	t	293.9
構造物取壊し工	無筋コンクリート取壊し		31	m <sup>3</sup>	31.3
	鉄筋コンクリート取壊し		3	m <sup>3</sup>	2.7
	無筋コンクリート運搬		31	m <sup>3</sup>	31.3
	無筋コンクリート処分		74	t	73.5
	鉄筋コンクリート運搬		3	m <sup>3</sup>	2.7
	鉄筋コンクリート処分		7	t	6.8
二次製品撤去工	VS300撤去		230	m	230.3
	BF900		2	m	2.0
	SGP150		7	m	7.2
	SGP350		13	m	13.2
	L型側溝		19	m	18.5
	L型擁壁		23	m	22.6
	BOX300		10	m	10.3
	二次製品運搬		31	m <sup>3</sup>	30.6

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単 位	摘 要	
排水工	二次製品処分		72	t	71.9	
	鉄くず運搬		1	t	1.2	
	スクラップ		1	t	1.2	
	標準型 自由勾配側溝	300×300	79	m	78.7	
		300×500	41	m	41.0	
		300×600	5	m	4.8	
	グレーチング	300型	12	枚	12	
	甲蓋	300型	101	枚	101	
	可変側溝固定蓋型	900×700	4	m	4.0	
	可変側溝固定蓋型	900×800	6	m	6.0	
	甲蓋		5	枚	5.0	
	グレーチング		10	枚	10.0	
	インバートコンクリート		4	m <sup>3</sup>	3.7	
	1型小口止め		2	基	2	
	5型小口止め		1	基	1	
	台付管 φ 250		10	m	10.1	
	台付管 φ 300		13	m	13.4	
	SGP φ 300		6	m	5.5	
	1型集水柵	300×500	1	箇所	1	
	グレーチング	420×500 細目	1	枚	1	
	2型集水柵	300×600	1	箇所	1	
	グレーチング	420×600 細目	1	枚	1	
	12型集水柵	Co=0.71m <sup>3</sup>	1	箇所	1	
グレーチング	1000×1000 T-25	1	枚	1		
掛口工	Co=0.18m <sup>3</sup>	3	箇所	3		

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単 位	摘 要	
路側工	取水工	Co=0.23m <sup>3</sup>	1	箇所	1	
	地先境界ブロック		2	m	2.0	
	1型歩車道境界ブロック		86	m	85.8	
	2型歩車道境界ブロック		48	m	47.9	
	1型組合せL型側溝		36	m	36.1	
	2型組合せL型側溝		2	m	1.8	
	道路鋸		39	個	39	
	プレキャストL型側溝	PL2-B250B	47	m	46.8	
	1型街渠柵-1		1	基	1	
	1型街渠柵-2		1	基	1	
	1型街渠柵-3		1	基	1	
	1型街渠柵-4		1	基	1	
	養生工	養生工		7	m <sup>3</sup>	6.8
舗装工 車道舗装工	不陸整正		2,240	m <sup>2</sup>	2236.6	
	置換層	再生クラッシャーラン RC-40 t=53cm	2,140	m <sup>2</sup>	2141.7	
	下層路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 t=12cm	2,140	m <sup>2</sup>	2141.7	
	下層路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 t=10cm	95	m <sup>2</sup>	94.9	
	上層路盤工	粒調碎石 M-40 t=12cm	2,240	m <sup>2</sup>	2236.6	
	基層工	粗粒度As20F t=5cm	2,450	m <sup>2</sup>	2445.3	
	表層工	再生密粒度As20F t=5cm	3,740	m <sup>2</sup>	3742.7	
	基面整正		541	m <sup>2</sup>	540.5	
	凍上抑制層	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	223	m <sup>2</sup>	223.0	
	路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 t=10cm	231	m <sup>2</sup>	230.9	

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単 位	摘 要	
区画線工	表層工	再生細粒度As13 t=3cm	541	m <sup>2</sup>	540.5	
	ペイント式	外側線	W15・実線	890	m	890.0
		外側線	W15・破線	8	m	8.0
	溶融式	中央線	W15・実線	575	m	575.1
		中央線(黄)	W15・実線	233	m	233.1
		中央線・右折導流线	W15・破線	72	m	72.0
		停止指導線	W30・実線	4	m	3.5
		停止線	W45・実線	24	m	23.6
		ゼブラ・横断歩道	W45・実線(ゼブラ)	349	m	349.1
	附带施設工	矢印等	W15・実線・15cm換算	179	m	178.8
		車止めポスト		18	本	18
仮設工	交通誘導員	交通誘導警備員B(昼間)	276	人	276	
		交通誘導警備員B(夜間)	125	人	125	

## 土 工 総 括

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	切 取	床 掘	盛 立	埋 戻	切 取	床 掘	盛 立	埋 戻		切 取	床 掘	盛 立	埋 戻
							機 械		衣土 V=		m <sup>2</sup>		m <sup>3</sup>
											× 0.30=		
							(As塊処分量)		(コンクリート塊処分量)				
機械掘削					2,408.4	—	127.8	—	64.6	(a)	=	2,216.1	
機械床堀					65.6			—	(コンクリート塊処分量)	(b)	=	65.6	2,281.7 (a) + (b)
機械路体盛立				(			(衣土分控除量)	) × 1/	(締固めによる変化率)	(c)	=		(盛立全量)
機械路床盛立				(				) × 1/	(締固めによる変化率)	(d)	=		(c) + (d)
機械埋戻					20.1			× 1/	(締固めによる変化率)	(e)	=	22.3	(埋戻全量)
機械埋戻										(f)	=	22.3	(e) + (f)
残土運搬処理					2,281.7	—	22.3				=	2,259.4	
土捨て場処理					2,259.4	×	1.2				=	2,711.2	

# 土 量 計 算 書(豊科2級3号線)

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊		掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊
ANO.6+17.6 137.60	7.2			8.3	—			—	—	—			—
ANO.7+1.2 141.20	5.0			6.0	6.10			7.15	3.6	22.0			25.7
ABC3 154.50	4.6			5.7	4.80			5.85	13.3	63.8			77.8
ANO.8+1.0 161.00	5.5			6.6	5.05			6.15	6.5	32.8			40.0
ASP3 173.48	7.2			7.3	6.35			6.95	12.5	79.4			86.9
ANO.9+1.0 181.00	8.7			10.0	7.95			8.65	7.5	59.6			64.9
AEC3 192.47	8.8	0.7	0.4	11.3	8.75	0.35	0.20	10.65	11.5	100.6	4.0	2.3	122.5
ANO.10 200.00	8.8	0.7	0.3	6.2	8.80	0.70	0.35	8.75	7.5	66.0	5.3	2.6	65.6
ANO.11 220.00	8.5	0.7	0.3	6.3	8.65	0.70	0.30	6.25	20.0	173.0	14.0	6.0	125.0
ANO.11+6.3 226.30	9.8	0.7	0.4	6.3	9.15	0.70	0.35	6.30	6.3	57.6	4.4	2.2	39.7
ANO.11+17.19 237.19	23.4				16.60				10.9	180.9			
ANO.12+7.2 247.20	5.5				14.45				10.0	144.5			
ANO.12+7.213.3 253.30	6.3	0.4	0.1	6.5	5.90	0.20	0.05	3.25	6.1	36.0	1.2	0.3	19.8
ANO.13 260.00	7.1	0.4	0.1	7.0	6.70	0.40	0.10	6.75	6.7	44.9	2.7	0.7	45.2
計									122.4	1,061.1	31.6	14.1	713.1

盛立=路体 : 埋戻=転圧

# 土 量 計 算 書(豊科2級3号線)

No. 2

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊		掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊
ANO.14 280.00		0.6	0.1	7.0	3.55	0.50	0.10	7.00	20.00	71.00	10.0	2.0	140.0
ANO.14+12.9 292.90		0.6	0.1	7.0		0.60	0.10	7.00	12.90		7.7	1.3	90.3
ANO.15 300.00		0.6	0.1	7.0		0.60	0.10	7.00	7.10		4.3	0.7	49.7
ANO.15+12.9 312.90		0.6	0.1	7.0		0.60	0.10	7.00	12.90		7.7	1.3	90.3
ANO.16 320.00		0.6	0.1	7.0		0.60	0.10	7.00	7.10		4.3	0.7	49.7
ANO.16+8.0 328.00				7.0				7.00	8.00				56.0
計									68.0	71.0	34.0	6.0	476.0

盛立=路体 : 埋戻=転圧

# 土 量 計 算 書(豊科1級1号線)

No. 3

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊		掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊
BBP 0.00	5.2			6.3	—			—	—	—			—
BNO.0+4.5 4.50	5.2			6.3	5.20			6.30	4.5	23.4			28.4
BNO.0+7.7 7.70	4.8			6.2	5.00			6.25	3.2	16.0			20.0
BNO.1 20.00	5.5			7.1	5.15			6.65	12.3	63.3			81.8
BBC1 37.87	6.5			8.4	6.00			7.75	17.9	107.4			138.7
BNO.2+7.7 47.70	7.1			9.1	6.80			8.75	9.8	66.6			85.8
BNO.3 60.00	7.1			9.1	7.10			9.10	12.3	87.3			111.9
BNO.4 80.00	8.0			8.4	7.55			8.75	20.0	151.0			175.0
BNO.4+8.7 88.70	8.4			8.5	8.20			8.45	8.7	71.3			73.5
BNO.5 100.00	8.4			8.6	8.40			8.55	11.3	94.9			96.6
BNO.5+14.9 114.90	8.4			8.5	8.40			8.55	14.9	125.2			127.4
BNO.6+1.0 121.00	10.3			11.9	9.35			10.20	6.1	57.0			62.2
BNO.6+5.6 125.60	13.6			15.0	11.95			13.45	4.6	55.0			61.9
BNO.6+12.95 132.95	21.7			15.8	17.65			15.40	7.4	130.6			114.0
合計									133.0	1,049.0			1,177.2

盛立=路床 : 埋戻=転圧無し

# 土 量 計 算 書(豊科1級1号線)

No. 4

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊	掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊		掘削	床 掘	埋戻	舗装取壊
BNO.7+1.7 141.70	9.8	0.4	0.1	12.2	15.75	0.20	0.05	14.00	8.75	137.81	1.8	0.4	122.5
BNO.7+7.9 147.90	6.2	0.4	0.1	9.4	8.00	0.40	0.10	10.80	6.20	49.6	2.5	0.6	67.0
BNO.8 160.00	0.4				3.30				12.10	39.9			
小 計									27.1	227.3			189.5
計									350.5	2,408.4	65.6	20.1	2,555.8

盛立=路床 : 埋戻=転圧無し

## 基 面 整 正 数 量 計 算 書

名 称	品 種	形状・寸法等					備 考
	地先境界ブロック			2.0 ×	0.25	=	0.50 m <sup>2</sup>
	1型歩車道境界ブロック			85.8 ×	0.33	=	28.3 m <sup>2</sup>
	2型歩車道境界ブロック			47.9 ×	0.53	=	25.4 m <sup>2</sup>
	1型組合せL型側溝			36.1 ×	0.53	=	19.1 m <sup>2</sup>
	2型組合せL型側溝			1.80 ×	0.53	=	0.95 m <sup>2</sup>
	1型街渠柵-1			0.70 ×	0.55	=	0.39 m <sup>2</sup>
	1型街渠柵-2			0.70 ×	0.55	=	0.39 m <sup>2</sup>
	1型街渠柵-3			0.70 ×	0.55	=	0.39 m <sup>2</sup>
	1型街渠柵-4			0.70 ×	0.55	=	0.39 m <sup>2</sup>
	1型集水柵			0.70 ×	0.62	=	0.43 m <sup>2</sup>
	2型集水柵			0.93 ×	0.62	=	0.58 m <sup>2</sup>
	12型集水柵			1.40 ×	1.48	=	2.07 m <sup>2</sup>
			合計				78.9 m <sup>2</sup>



構 造 物 撤 去 計 算 書					
名 称	品 種	形状・寸法等		計 算 式 等	備 考
構造物取壊し工	無筋コンクリート	構造物取壊し工		下段集計	31.27 m <sup>3</sup>
			30	V=	1.07
			31	V=	5.02
			33	V=	0.39
			34	V=	0.59
			35. 37. 41. 43. 45	V=	4.66
			36. 39. 42	V=	1.90
			38. 40	V=	0.34
			44	V=	0.20
			46	V=	0.46
			141	V=	1.49
			138. 140	V=	4.20
			139	V=	3.40
			142. 143	V=	3.11
			145	V=	1.76
			146	V=	0.34
			147	V=	0.58
			148	V=	0.87
			149	V=	0.33

構 造 物 撤 去 計 算 書				
名 称	品 種	形状・寸法等	計 算 式 等	備 考
		150	$V=$ 0.56	
		運搬	31.27	m <sup>3</sup>
		処分	$31.27 \times 2.35 =$ 73.5	t
	鉄筋コンクリート	構造物取壊し工	下段集計	2.71 m <sup>3</sup>
		31	$V=$ 1.33	
		32	$V=$ 1.38	
		運搬	2.71	m <sup>3</sup>
		処分	$2.71 \times 2.5 =$ 6.8	t
	二次製品	撤去工	下段集計	30.59 m <sup>3</sup>
		BF900	( m ) 2.0 = 0.34	m <sup>3</sup>
		VS900	33 1.2 = 0.51	m <sup>3</sup>
		VS300	34 12.0 = 1.42	m <sup>3</sup>
		VS300	35. 37. 41. 43. 45 106.0 = 9.65	m <sup>3</sup>
		VS300	36. 39. 42 24.7 = 2.94	m <sup>3</sup>
		SGP150A	47 7.2	
		SGP350A	48 13.2	
		VS300	141 14.9 = 2.01	m <sup>3</sup>
		VS300	138. 140 43.7 = 6.69	m <sup>3</sup>
		VS300	139 21.0 = 3.19	m <sup>3</sup>
		L型側溝	142. 143 18.5 = 0.31	m <sup>3</sup>

構 造 物 撤 去 計 算 書

名 称	品 種	形状・寸法等	計 算 式 等	備 考
		L型擁壁	145	22.6 = 1.63 m <sup>3</sup>
		VS300	146	8.0 = 0.78 m <sup>3</sup>
		BOX300	150	10.3 = 1.12 m <sup>3</sup>
		VS300	計	230.3
		運搬		30.59 m <sup>3</sup>
		処分		30.59 × 2.35 = 71.9 t
		土工控除		64.57 m <sup>3</sup>
	スクラップ		下段集計	1,167.4 kg
		グレーチング	38.40	38.2 kg
		グレーチング	44	19.1 kg
		グレーチング	46	73.9 kg
		SGP	47	142.6 kg
		SGP	48	893.6 kg
		運搬		1,167.4 / 1,000 = 1.17 t
		処分		1.17 t

## 排水構造物数量計算書

名 称	品 種	形状・寸法等				備 考
側溝工	自由勾配側溝	標準型	300×300	下段集計	78.7 m	展開図より
					12.7	
					66.0	
		標準型	300×500	下段集計	41.0 m	
					40.0	
					1.0	
				標準標準型300×300～500集計	119.7 m	
		標準型	300×600	下段集計	4.8 m	
					4.8 m	
				標準型300型集計	124.5 m	
	グレーチング	300型		$124.5 / 10 =$	12 枚	
	甲蓋	300型		$(124.5/2-12)*2 =$	101 枚	
	可変側溝固定蓋型	900×700		$2.0+2.0 =$	4.0 m	構造図3より
	可変側溝固定蓋型	900×800			6.0 m	
	甲蓋	900型		$10.0/2 =$	5 枚	
	グレーチング	900型		$10.0/1 =$	10 枚	

## 排水構造物数量計算書

名称	品 種	形状・寸法等			備 考
	インバートコンクリート			= 3.7 m <sup>3</sup>	
	1型小口止め			Co= 0.03 m <sup>3</sup> = 2 基	
	5型小口止め			Co= 0.04 m <sup>3</sup> = 1 基	
	台付管	φ 250		= 10.1 m	
	台付管	φ 300		= 13.4 m	
	SGP	φ 300		= 5.5 m	
	1型集水柵	300×500	VS柵	= 1 箇所	
	グレーチング	420×500	細目	= 1 枚	
	2型集水柵	300×600	VS柵	= 1 箇所	
	グレーチング	420×600	細目	= 1 枚	
	12型集水柵	1300×1380		Co= 0.71 m <sup>3</sup> = 1 箇所	構造図3より
	グレーチング	1000×100	T-25ボルト固定	= 1 枚	
	掛口工	手動式水門	C1-150型	Co= 0.18 m <sup>3</sup> = 3 箇所	
	取水工	手動式水門	C2-250型	Co= 0.23 m <sup>3</sup> = 1 箇所	

## 自由勾配側溝工計算書

位 置	インバート厚	平均インバート厚	幅	距 離	体 積	摘 要
(m)	(t)	(t)	(B)	(m)	(m <sup>3</sup> )	
NO. 2+7. 2	0. 128	—	0. 30	—	—	
NO. 2+9. 13	0. 088	0. 11	0. 30	2. 00	0. 07	
NO. 4+6. 31	0. 126	0. 11	0. 30	38. 00	1. 25	
NO. 4+7. 14	0. 096	—	0. 30	—	—	
NO. 4+9. 17	0. 078	0. 09	0. 30	2. 03	0. 05	
NO. 4+13. 97	0. 085	0. 08	0. 30	2. 66	0. 06	
NO. 7+1. 85	0. 050	—	0. 30	—	—	
BN07+14. 48	0. 050	0. 05	0. 30	12. 67	0. 19	
BN07+14. 48	0. 206	0. 13	0. 30	—	—	
BN07+15. 48	0. 219	0. 21	0. 30	1. 00	0. 06	
小 計					1. 68	

## 自由勾配側溝工計算書

位 置	インバート厚	平均インバート厚	幅	距 離	体 積	摘 要
(m)	(t)	(t)	(B)	(m)	(m <sup>3</sup> )	
ANO. 12+13.2	0.100	—	0.30	—	—	
ANO. 15+12.9	0.100	0.10	0.30	66.00	1.98	
計					1.98	
小 計					3.66	

## 路側工数量計算書

名称	品 種	形状・寸法等			備 考
路側工	地先境界ブロック			2.0 m	平面図より
	1型歩車道境界ブロック			85.8 m	
				66.0	
				19.8	
	2型歩車道境界ブロック			47.9 m	
				7.4	
				16.6	
				13.9	
				10.0	
	1型組合せL型側溝			36.1 m	
				10.7	
				10.0	
				15.4	
	2型組合せL型側溝			1.8 m	
	道路鋳			39 個	
	プレキャストL型側溝	PL2-B250B		46.8 m	
	1型街渠柵-1			1 基	
	1型街渠柵-2			1 基	
	1型街渠柵-3			1 基	
	1型街渠柵-4			1 基	

## 養生工数量計算書

名 称	品 種	形状・寸法等			備 考
養生工	自由勾配側溝基礎Co	標準型	300型	$119.7 \times 0.49 \times 0.05 + 4.8 \times 0.52 \times 0.05 = 3.1 \text{ m}^3$	
	インバート			$3.7 \text{ m}^3$	
			合計	$6.8 \text{ m}^3$	

## 舗装工総括表

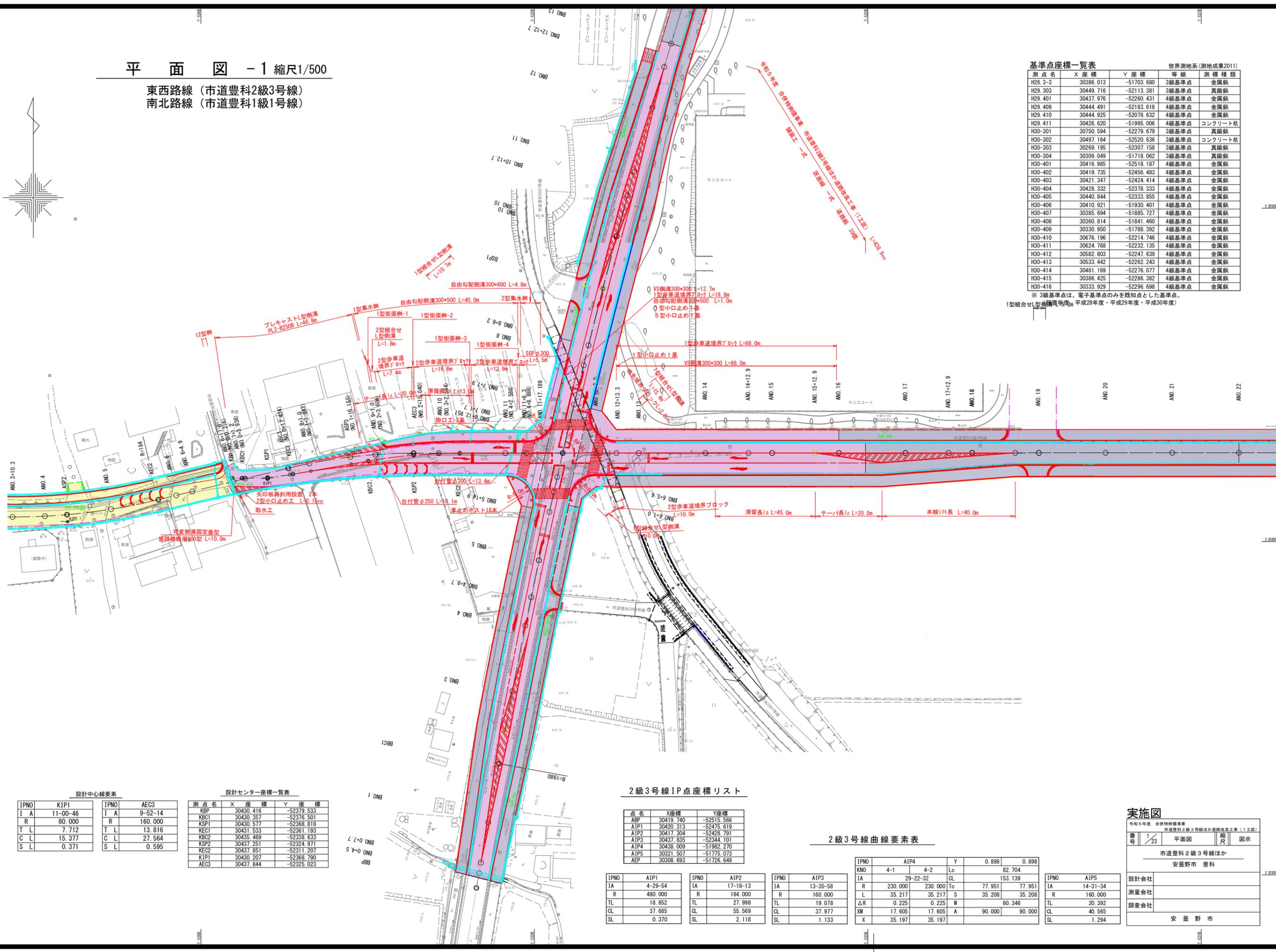
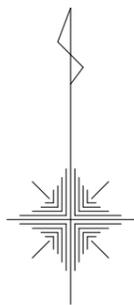
名称	品 種	形状・寸法等			備 考
車道舗装工	不陸整正			2,236.6 m <sup>2</sup>	舗装展開図より
	置換層	RC-40	t=53cm	2,141.7 m <sup>2</sup>	
	下層路盤工	RC-40	t=12cm	2,141.7 m <sup>2</sup>	
	下層路盤工	RC-40	t=10cm	94.9 m <sup>2</sup>	
	上層路盤工	M-40	t=12cm	2,236.6 m <sup>2</sup>	
	基層工	粗粒度As20F	t=5cm	2,445.3 m <sup>2</sup>	
	表層工	再生密粒度As20F	t=5cm	3,742.7 m <sup>2</sup>	
歩道工	不陸整正			540.5 m <sup>2</sup>	
	凍上抑制工	RC-40	t=15cm	223.0 m <sup>2</sup>	
	路盤工	RC-40	t=10cm	230.9 m <sup>2</sup>	
	表層工	細粒度As13	t=3cm	540.5 m <sup>2</sup>	





平面図 - 1 縮尺1/500

東西路線 (市道豊科2級3号線)  
南北路線 (市道豊科1級1号線)



基準点座標一覧表

測点名	X座標	Y座標	等級	測標種類
H28_3-3	30386.013	-51703.680	3級基準点	金属板
H29_303	30449.716	-52113.381	3級基準点	真鍮板
H29_401	30437.976	-52260.431	4級基準点	金属板
H29_409	30444.491	-52183.618	4級基準点	金属板
H29_410	30444.925	-52078.632	4級基準点	金属板
H29_411	30426.620	-51995.006	4級基準点	コンクリート杭
H30-301	30750.594	-52279.679	3級基準点	真鍮板
H30-302	30497.164	-52520.636	3級基準点	コンクリート杭
H30-303	30269.195	-52307.158	3級基準点	真鍮板
H30-304	30309.049	-51718.062	3級基準点	真鍮板
H30-401	30416.985	-52518.187	4級基準点	金属板
H30-402	30419.735	-52456.483	4級基準点	金属板
H30-403	30421.347	-52424.414	4級基準点	金属板
H30-404	30428.332	-52378.333	4級基準点	金属板
H30-405	30440.844	-52333.855	4級基準点	金属板
H30-406	30410.921	-51930.401	4級基準点	金属板
H30-407	30385.694	-51885.727	4級基準点	金属板
H30-408	30360.814	-51841.460	4級基準点	金属板
H30-409	30330.950	-51788.392	4級基準点	金属板
H30-410	30676.196	-52214.746	4級基準点	金属板
H30-411	30624.768	-52232.135	4級基準点	金属板
H30-412	30582.803	-52247.639	4級基準点	金属板
H30-413	30533.442	-52262.243	4級基準点	金属板
H30-414	30481.169	-52276.077	4級基準点	金属板
H30-415	30386.425	-52286.382	4級基準点	金属板
H30-416	30333.929	-52296.698	4級基準点	金属板

※ 3級基準点は、電子基準点のみを既知点とした基準点。  
1型組合せL型側溝(設置年度:平成28年度・平成29年度・平成30年度)

設計中心線要素

IPNO	KIP1	IPNO	AEC3
I A	11-00-46	I A	9-52-14
R	80.000	R	160.000
T L	7.712	T L	13.816
C L	15.377	C L	27.564
S L	0.371	S L	0.595

設計センター座標一覧表

測点名	X座標	Y座標
KBP	30430.416	-52379.533
KBC1	30430.357	-52376.501
KSP1	30430.577	-52368.818
KEC1	30431.533	-52361.193
KBC2	30435.469	-52338.633
KSP2	30437.251	-52324.971
KEC2	30437.851	-52311.207
KIP1	30430.207	-52368.790
AEC3	30437.844	-52325.023

2級3号線IP点座標リスト

点名	X座標	Y座標
ABP	30419.740	-52515.566
AIP1	30420.313	-52475.619
AIP2	30417.304	-52428.791
AIP3	30437.835	-52344.101
AIP4	30438.009	-51982.270
AIP5	30321.507	-51775.073
AEP	30308.693	-51726.649

2級3号線曲線要素表

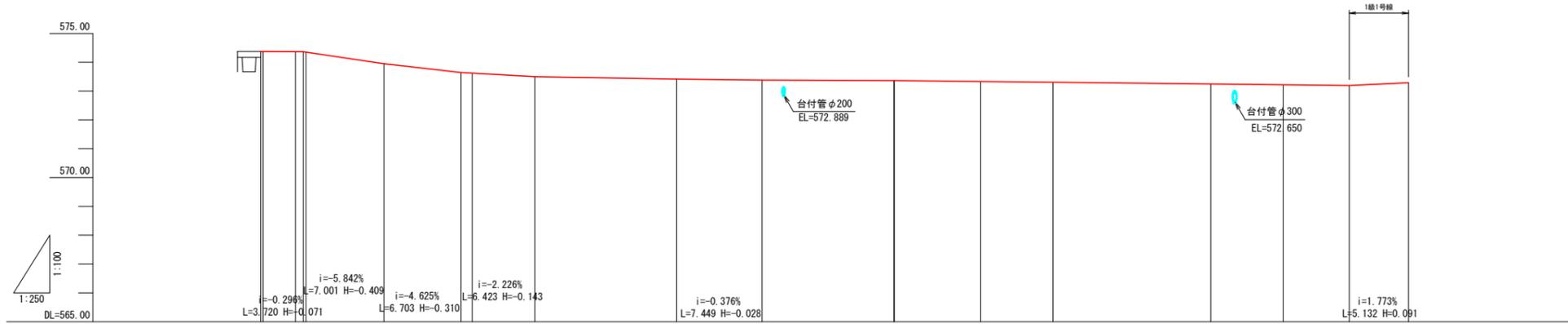
IPNO	AIP4	Y	0.898	0.898
IA	4-1	4-2	Lc	82.704
IA	29-22-32	CL		153.139
R	230.000	230.000	Tc	77.951
L	35.217	35.217	S	35.208
△R	0.225	0.225	W	60.346
XM	17.605	17.605	A	90.000
X	35.197	35.197		90.000

実施図

令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1区)	縮尺	図示
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

IPNO	AIP5
IA	14-31-34
R	160.000
TL	20.392
CL	40.565
SL	1.294

縦断図 縮尺 V=1/100  
H=1/250  
(市道豊科2級3号線)



計	設	測	量		測		計	
			追加距離	単距離	測点	単距離	追加距離	計画高
勾配図								
盛土								
切土								
計画高								
追加距離								
単距離								
測点								
曲線方向								
片勾配擦付図								
地盤高								
追加距離								
単距離								
測点								
曲線方向								

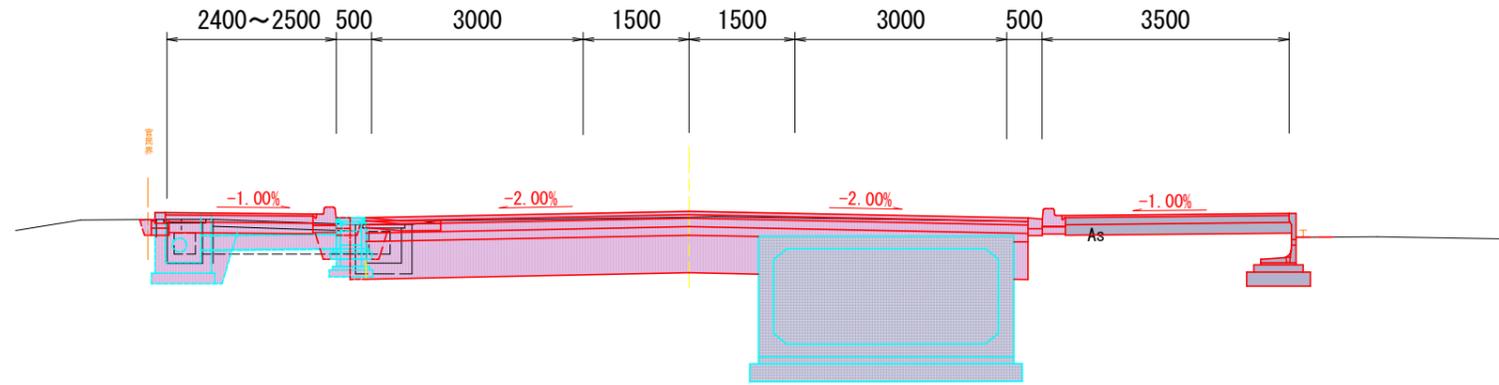
実施図

令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線法道橋改良工事(1工区)			
番号	2/23	縦断図 1	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか 安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社	安曇野市		



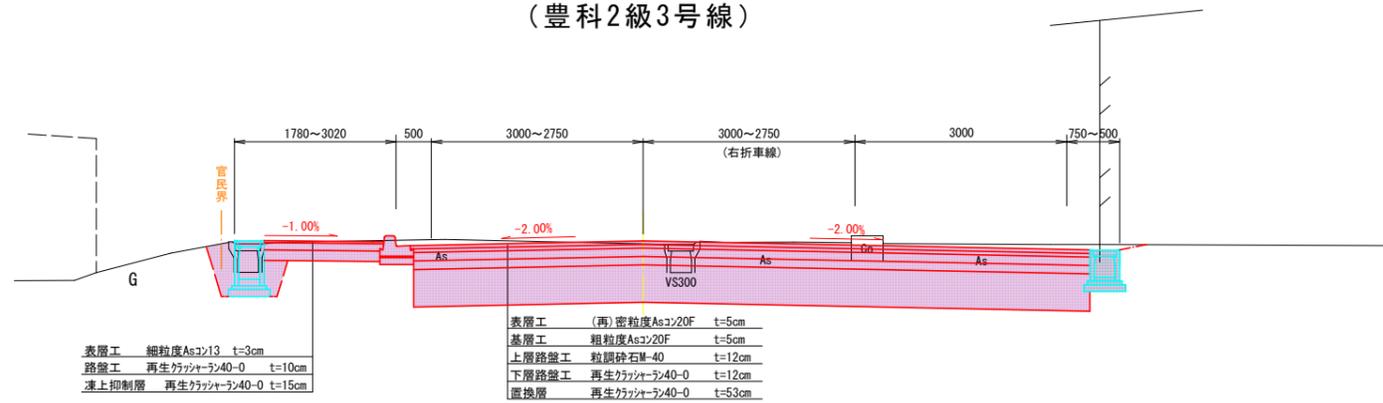
# 標準横断図 S=1:50

(豊科1級1号線)



設計諸元表	
構造規格	3種3級
巾員構成	(歩) 2.50+0.50+3.00+3.00+0.75
	(歩) =9.75m
	(歩) 3.50+0.50+3.00+3.00+0.50+3.50 =14.00m
設計速度	40 km/h
最小半径	60 m
勾配	縦断0.05~4.88% 横断2.00%
地質	上層 砂質礫 下層 シルト混砂礫
舗装厚決定根拠	凍結深 気象データ(標高) 標高540m 凍結指数138℃・日 凍結期間82日(2007~2017) 標高補正 現場576m 凍結指数=138+0.5*(576-540)/100=152.8℃・日 これよりC=4.0 以上よりZ=C/F=4.0×√152.8=49.4cm 設計凍結=49.4×0.7=34.6≒35cm 表層・基層厚 計画交通量(1日1方向当りの大型交通量) 40≦T<100の場合の基層+表層の最小厚 5cm 日本道路協会「舗装設計便覧」(H18.2)P75~P81
(1) 舗装計画交通量	100台以上250台未満/24h (2) 信頼性 90% (3) 設計期間 10年
(3) 各地点のCBR値	C-1 2.2 C-2 1.3 C-3 13.5 C-4 42.6 C-5 1.0 C-6 0.5 C-7 0.8
(5) 設計CBR値	3 (路床を設計CBR3に改良)[C-3, C-4棄却] (6) 凍結深 35cm
(7) 疲労破壊輪数	30,000 回/10年 (8) 舗装の必要等価換算厚 15cm
(9) 舗装厚	
設計CBR値より	TA=15cm 等価換算係数 TA'
表層工	再生密粒度Asコン20F t=5cm 1.00 5.00
基層工	粗粒度Asコン20 t=5cm 1.00 5.00
上層路盤工	粒調砕石M40 t=12cm 0.35 4.20
下層路盤工	再生クラッシュラン40-0 t=12cm 0.25 3.00
合計	t=34cm 17.2
路床改良	置換工法(修正CBR20以上) t=53cm

(豊科2級3号線)



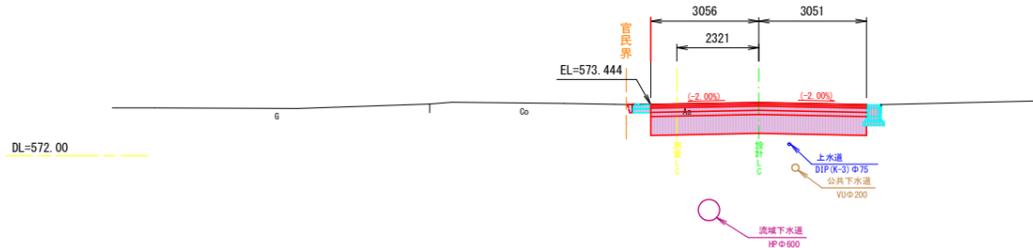
## 実施図

令和5年度 合併特例債事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)			
番号	4/23	標準横断図	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

ANO. 8+1.0  
(NO. 1+3.847) (P. 161.0)

GH=573.47  
FH=573.504

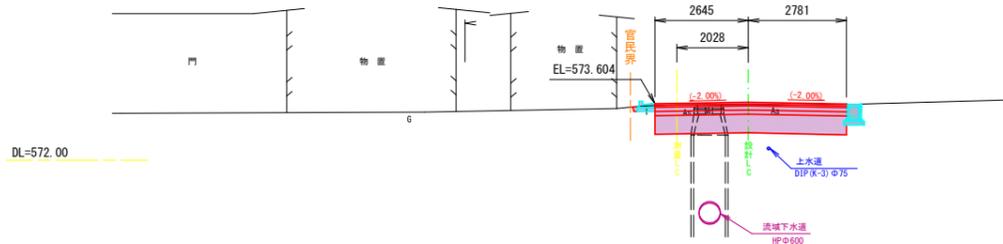
測点	ANO. 8+1.0
区分	数量
C:掘削	5.5m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	6.6m



測点	ABC3
区分	数量
C:掘削	4.6m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	5.7m

ABC3=NO. 7+14.50  
(NO. 0+17.424) (P. 154.5)

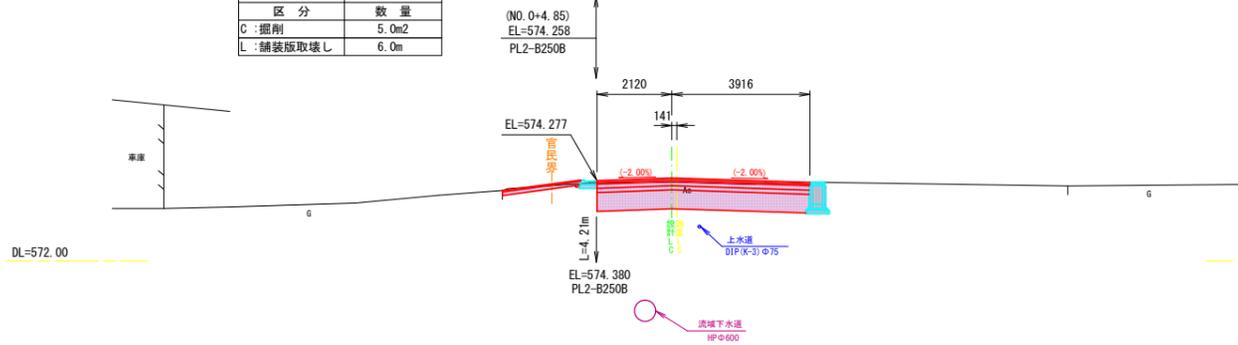
GH=573.58  
FH=573.647



ANO. 7+1.2  
(NO. 0+3.938) (P. 141.2)

GH=574.23  
FH=574.353

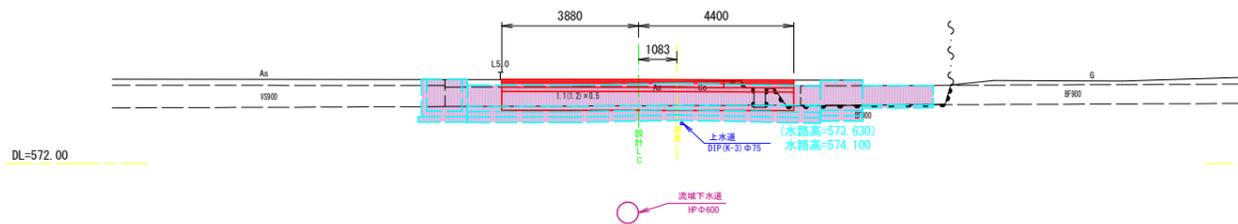
測点	ANO. 7+1.2
区分	数量
C:掘削	5.0m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	6.0m



ANO. 6+17.6  
(NO. 0+0.216) (P. 137.6)

GH=574.38  
FH=574.376

測点	(NO. 0+0.216)
区分	数量
C:掘削	7.2m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	8.3m



DL=572.00

### 横断図 A-3

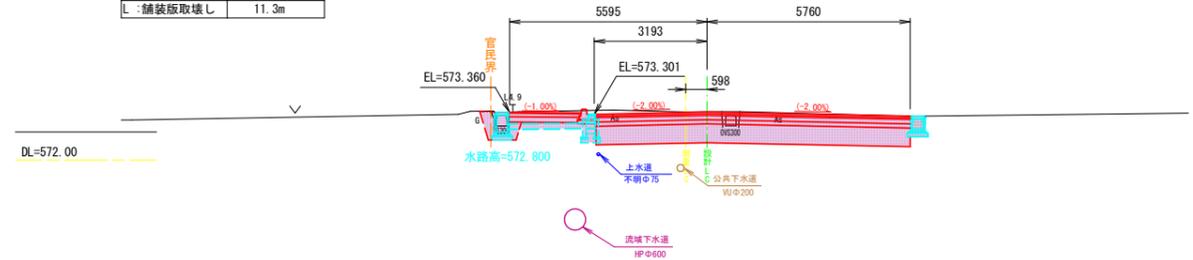
縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

(東西路線 市道豊科2級3号線)

AEC3=NO. 9+12.47  
(NO. 2+15.040) (P. 192.47)

GH=573.37  
FH=573.366

測点	AEC3
区分	数量
C:掘削	8.8m <sup>2</sup>
C:床掘	0.7m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.4m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	11.3m

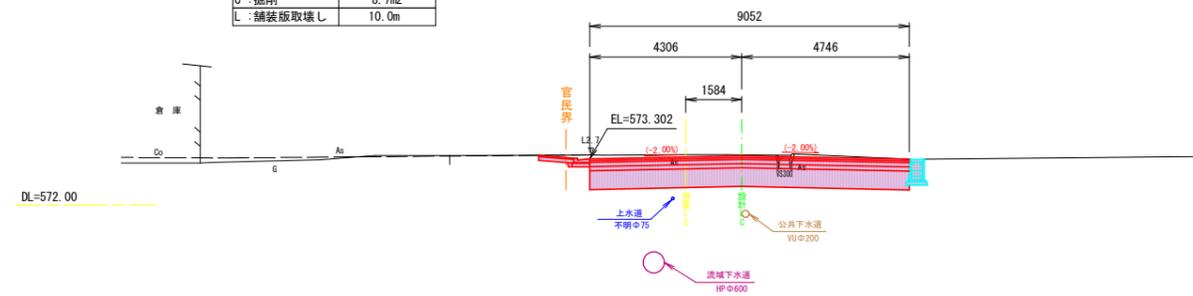


DL=572.00

ANO. 9+1.0  
(NO. 2+3.604) (P. 181.0)

GH=573.42  
FH=573.389

測点	ANO. 9+1.00
区分	数量
C:掘削	8.7m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	10.0m

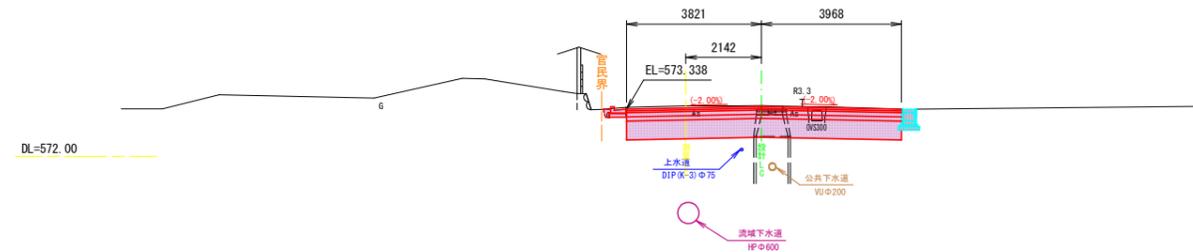


DL=572.00

ASP3=NO. 8+13.48  
(NO. 1+16.155) (P. 173.48)

GH=573.43  
FH=573.417

測点	ASP3
区分	数量
C:掘削	7.2m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	7.3m



DL=572.00

### 実施図

令和5年度 合併特別債事業		市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1工区)	
番号	5/23	横断図 1	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社	安曇野市		

\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じて立会い及び目録を作成する

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

ANO. 11+17.19 (P. 237.19)

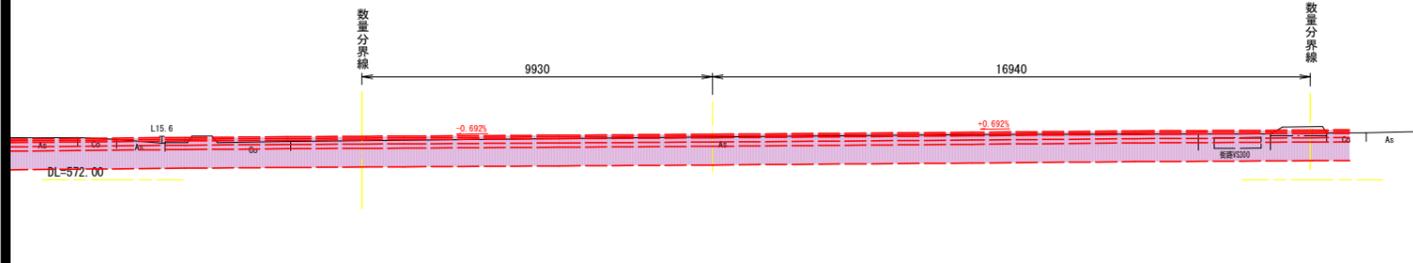
GH=573.22  
FH=573.293

# 横断図 A-4

縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

(東西路線 市道豊科2級3号線)

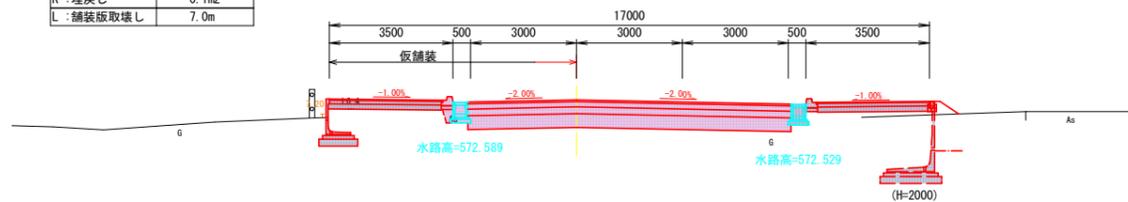
測点	NO. 4+15.116
区分	数量
C:掘削	23.4m <sup>2</sup>



測点	ANO. 13
区分	数量
C:掘削	7.1m <sup>2</sup>
C:床掘	0.4m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	7.0m

ANO. 13 (P. 260.0)

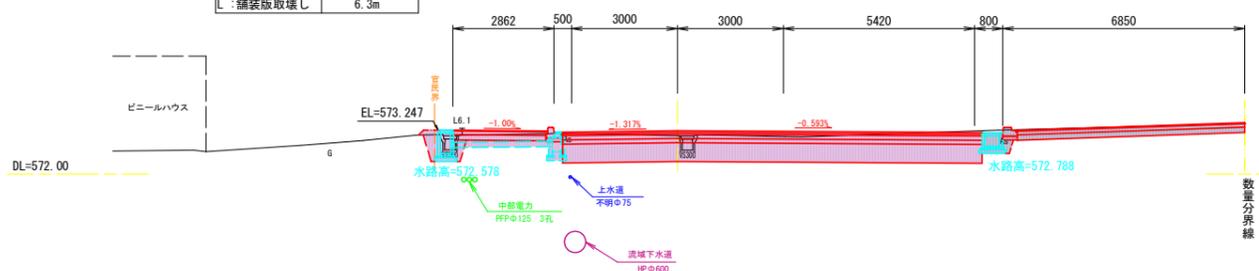
GH=572.40  
FH=572.991



ANO. 11+6.3  
(NO. 4+8.886) (P. 226.3)

GH=573.09  
FH=573.229

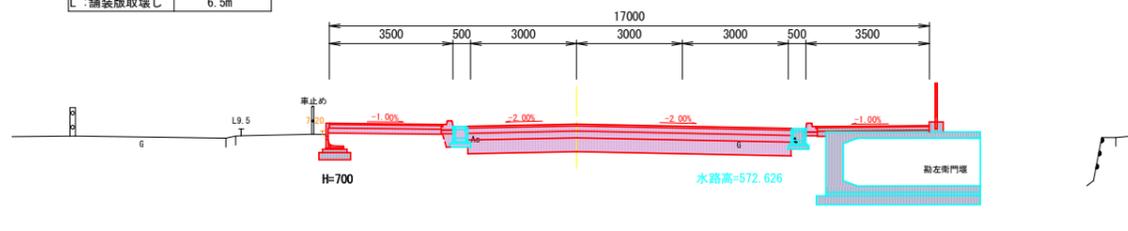
測点	NO. 4+8.886
区分	数量
C:掘削	9.8m <sup>2</sup>
C:床掘	0.7m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.4m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	6.3m



測点	ANO. 12+13.3
区分	数量
C:掘削	6.3m <sup>2</sup>
C:床掘	0.4m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	6.5m

ANO. 12+13.3 (P. 253.3)

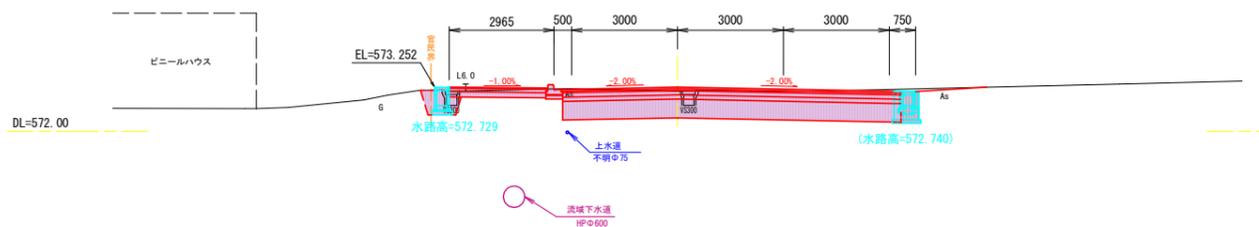
GH=572.82  
FH=573.088



測点	NO. 4+2.586
区分	数量
C:掘削	8.5m <sup>2</sup>
C:床掘	0.7m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.3m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	6.3m

ANO. 11  
(NO. 4+2.586) (P. 220.0)

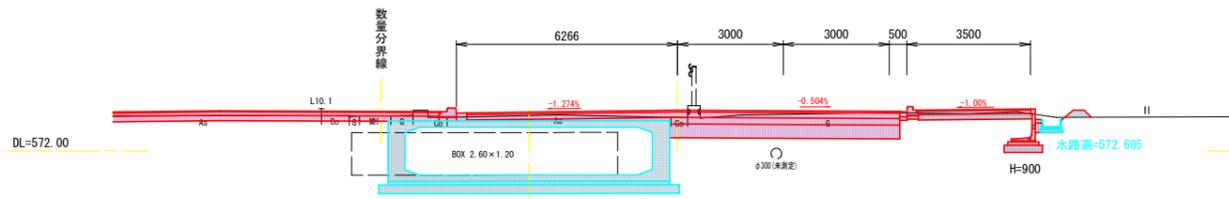
GH=573.13  
FH=573.255



測点	ANO. 12+7.2
区分	数量
C:掘削	5.5m <sup>2</sup>

ANO. 12+7.2 (P. 247.2)

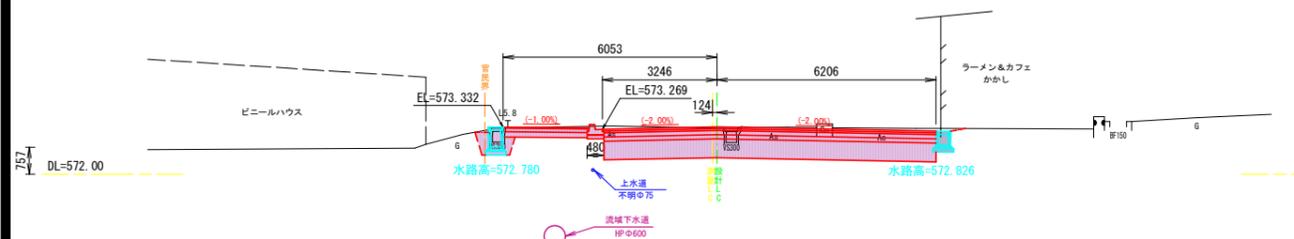
GH=572.95  
FH=573.146



測点	NO. 3+2.584
区分	数量
C:掘削	8.8m <sup>2</sup>
C:床掘	0.7m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.3m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	6.2m

ANO. 10  
(NO. 3+2.584) (P. 200.0)

GH=573.30  
FH=573.343



## 実施図

令和5年度 合併特別債事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)			
番号	6/23	横断図 2	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社	安曇野市		

\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じ立会い及び試掘を実施する。

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

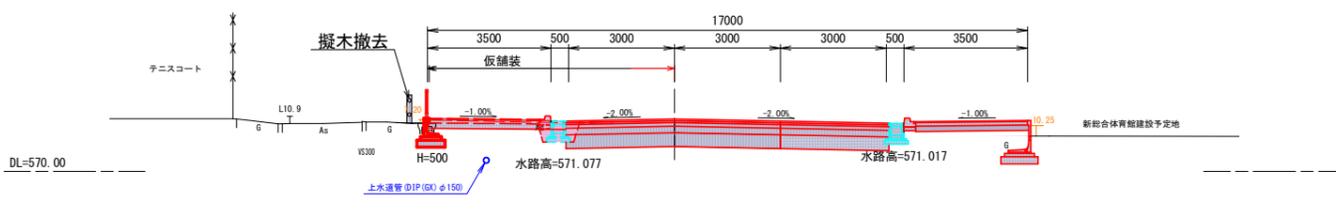
# 横断図 (2)

縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)  
(東西路線 市道豊科2級3号線)

ANO. 16

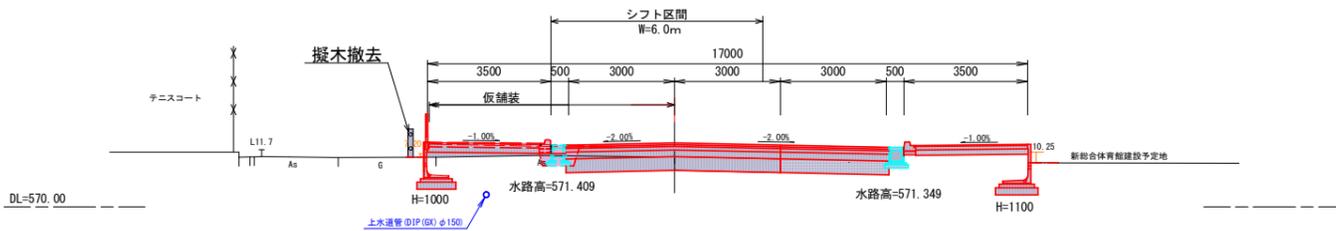
測点	ANO. 15+12.9
区分	数量
C:床掘	0.6m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	7.0m

ANO. 15+12.9 (P. 312.9)  
GH=571.33  
FH=571.479



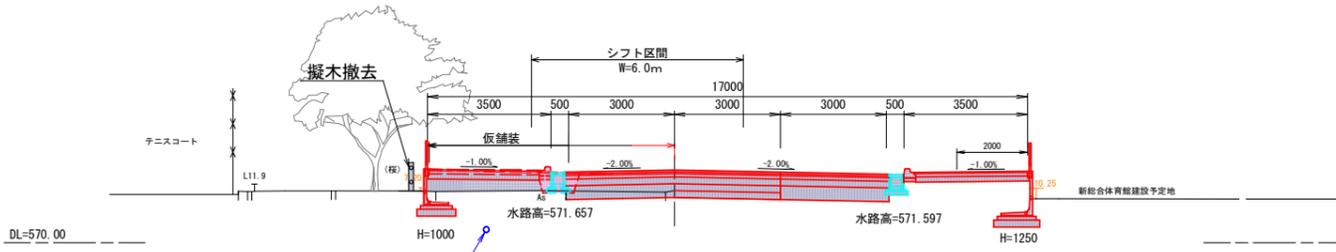
測点	ANO. 14+12.9
区分	数量
C:床掘	0.6m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	7.0m

ANO. 15 (P. 300.0)  
GH=571.40  
FH=571.811



測点	ANO. 14+12.9
区分	数量
C:床掘	0.6m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	7.0m

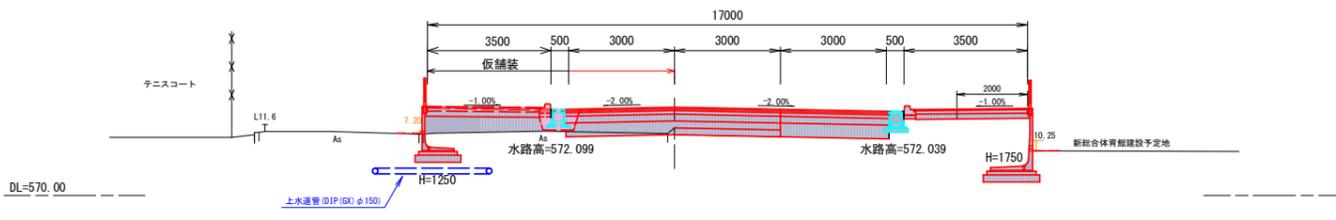
ANO. 14+12.9 (P. 292.9)  
GH=571.47  
FH=572.059



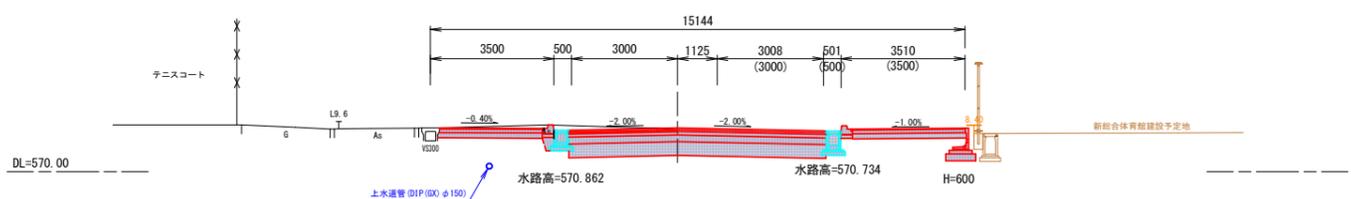
測点	ANO. 14
区分	数量
C:床掘	0.6m <sup>2</sup>
R:埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	7.0m

ANO. 14 (P. 280.0)  
GH=571.76  
FH=572.501

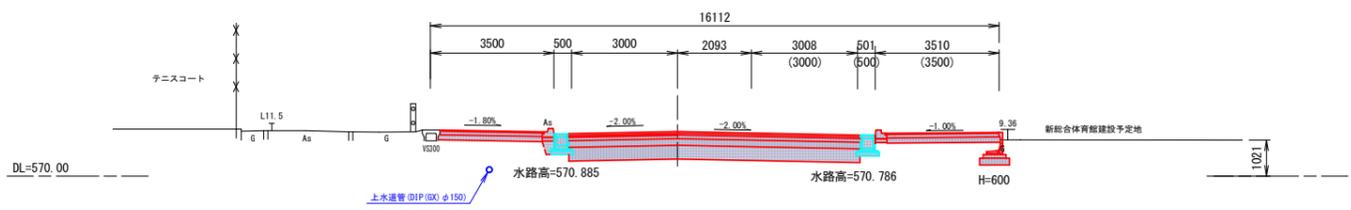
上水道管 (DIP (GX) φ150) が先行して布設されているため、施工時に注意して下さい。



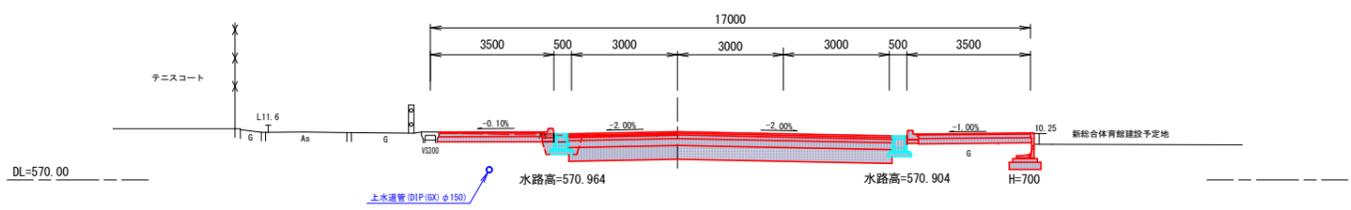
ANO. 17+12.9 (P. 352.9)  
GH=571.25  
FH=571.232



ANO. 17 (P. 340.0)  
GH=571.28  
FH=571.264



ANO. 16 (P. 320.0)  
GH=571.33  
FH=571.366



\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じ立会い及び試掘を実施する。  
※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

### 実施図

令和5年度	合併特例債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1区)
番号	7/23	横断図3
縮尺	図示	
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

# 横断図 B-1

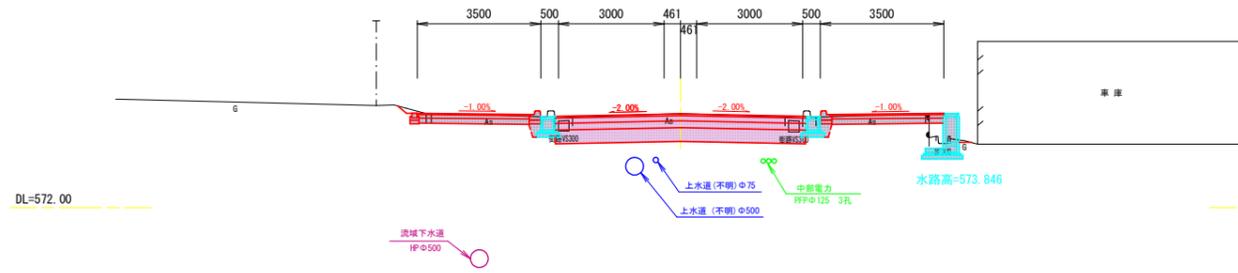
縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

(南北路線 豊科1級1号線)

測点	BNO. 1
区分	数量
C:掘削	5.5m2
L:舗装版取壊し	7.1m

BNO. 1 (P. 20. 0)

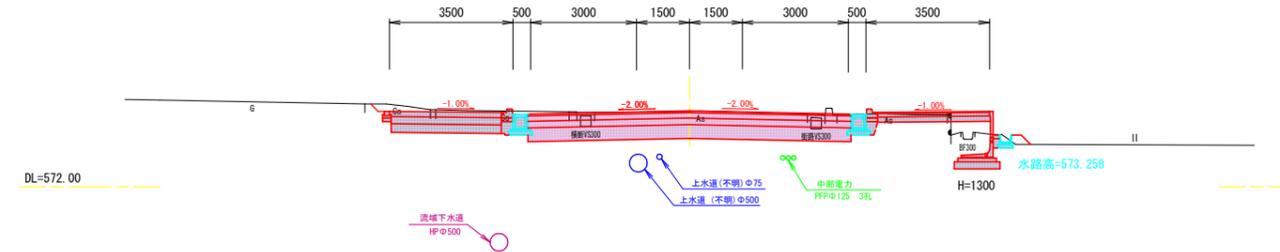
GH=574. 66  
FH=574. 653



測点	BNO. 3
区分	数量
C:掘削	7. 1m2
L:舗装版取壊し	9. 1m

BNO. 3 (P. 60. 0)

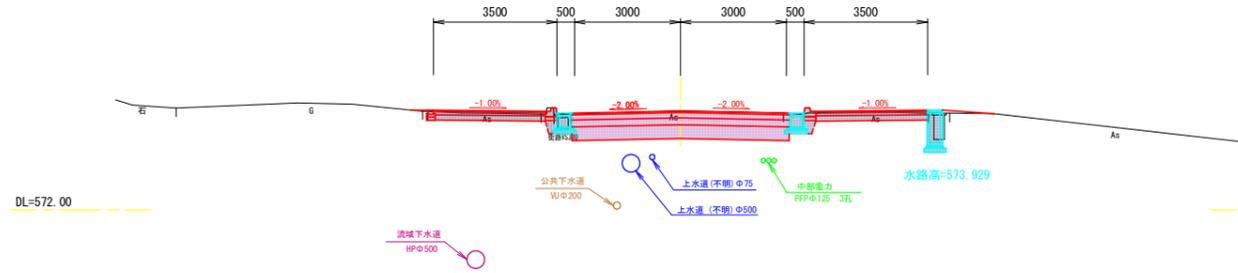
GH=574. 13  
FH=574. 138



測点	BNO. 0+7. 7
区分	数量
C:掘削	4. 8m2
L:舗装版取壊し	6. 2m

BNO. 0+7. 7 (P. 7. 7)

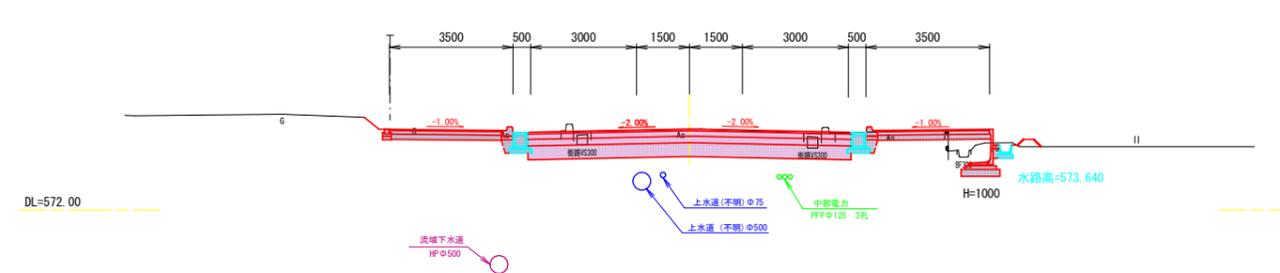
GH=574. 81  
FH=574. 811



測点	BNO. 2+7. 7
区分	数量
C:掘削	7. 1m2
L:舗装版取壊し	9. 1m

BNO. 2+7. 7 (P. 47. 7)

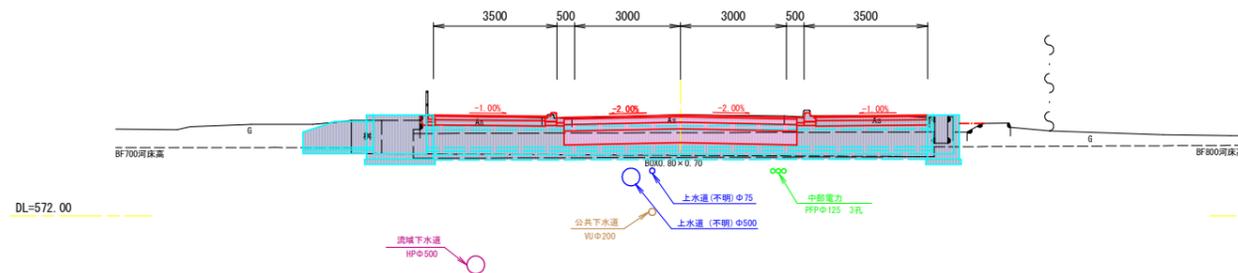
GH=574. 29  
FH=574. 296



測点	BNO. 0+4. 5
区分	数量
C:掘削	5. 2m2
L:舗装版取壊し	6. 3m

BNO. 0+4. 5 (P. 4. 5)

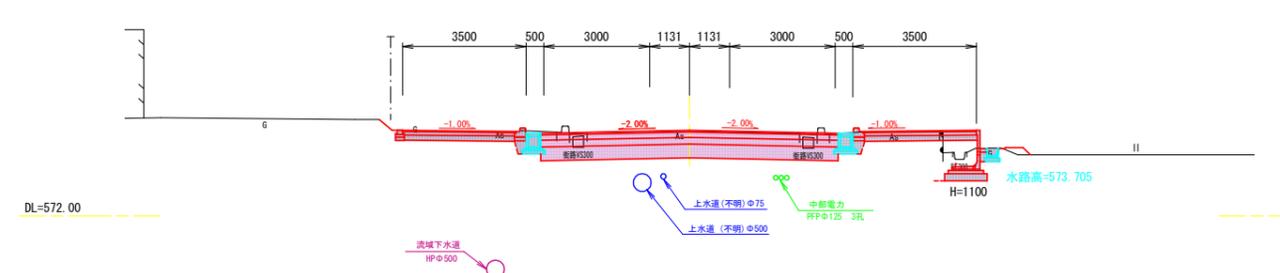
GH=574. 86  
FH=574. 852



測点	BBC1
区分	数量
C:掘削	6. 5m2
L:舗装版取壊し	8. 4m

BBC1=NO. 1+17. 87 (P. 37. 87)

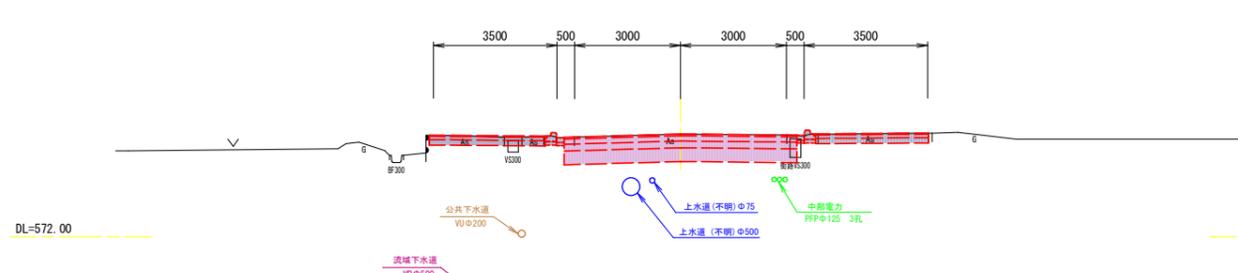
GH=574. 42  
FH=574. 422



測点	BBP
区分	数量
C:掘削	5. 2m2
L:舗装版取壊し	6. 3m

BBP (P. 0. 0)

GH=574. 91  
FH=574. 91



## 実施図

令和0年度 合併特別事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)			
番号	8/23	横断図4	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じ立会い及び試掘を実施する。

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限りです。

# 横断図 B-2

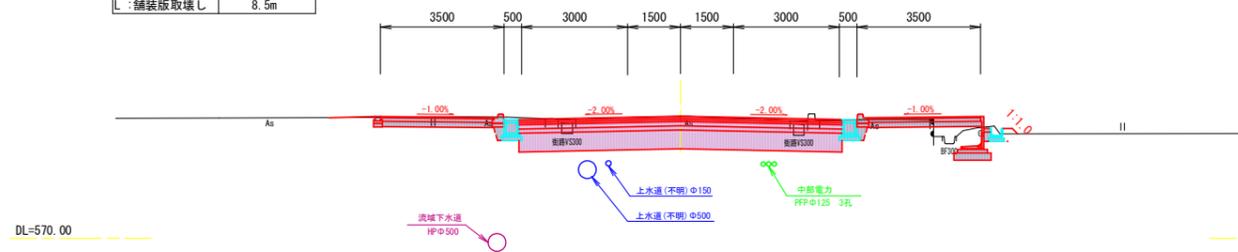
縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

(南北路線 豊科1級1号線)

測点	BNO. 5+14.9
区分	数量
C:掘削	8.4m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	8.5m

BNO. 5+14.9 (P. 114.9)

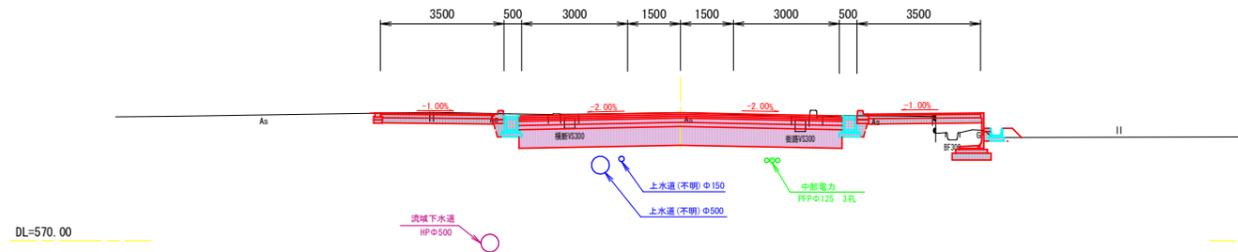
GH=573.46  
FH=573.454



測点	BNO. 5
区分	数量
C:掘削	8.4m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	8.6m

BNO. 5 (P. 100.0)

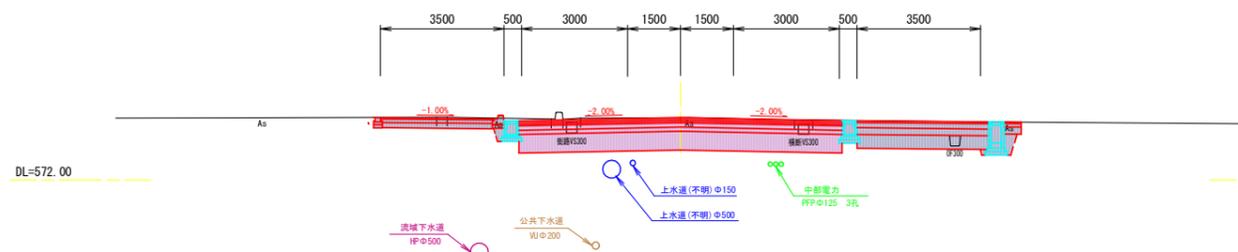
GH=573.62  
FH=573.624



測点	BNO. 4+8.7
区分	数量
C:掘削	8.4m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	8.5m

BNO. 4+8.7 (P. 88.7)

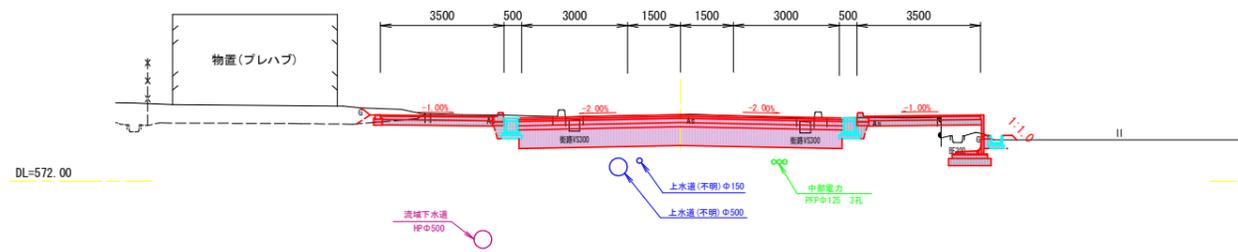
GH=573.76  
FH=573.768



測点	BNO. 4
区分	数量
C:掘削	8.0m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	8.4m

BNO. 4 (P. 80.0)

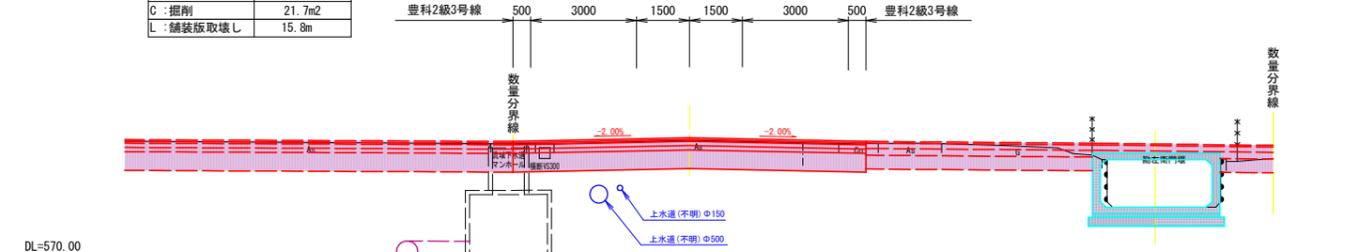
GH=573.88  
FH=573.880



測点	BNO. 6+12.951
区分	数量
C:掘削	21.7m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	15.8m

BNO. 6+12.951 (P. 132.95)

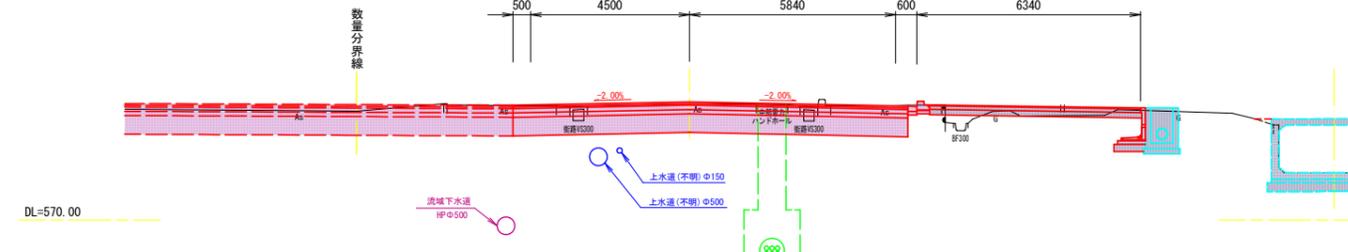
GH=573.22  
FH=573.293



測点	BNO. 6+5.6
区分	数量
C:掘削	13.6m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	15m

BNO. 6+5.6 (P. 125.6)

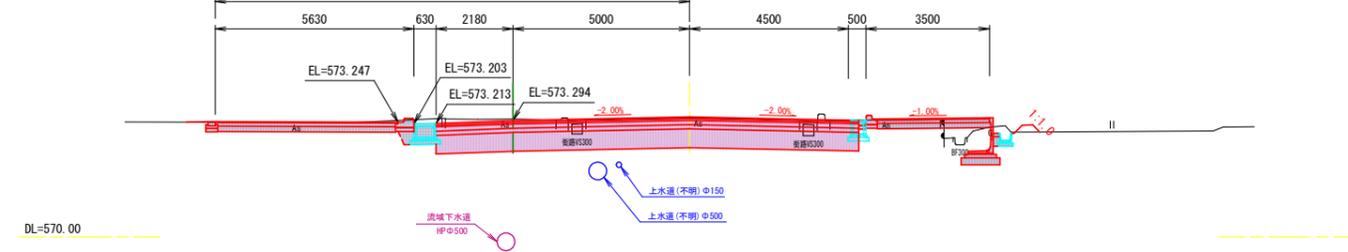
GH=573.30  
FH=573.353



測点	BNO. 6+1.0
区分	数量
C:掘削	10.3m <sup>2</sup>
L:舗装版取壊し	11.9m

BNO. 6+1.0 (P. 121.0)

GH=573.37  
FH=573.394



## 実施図

令和5年度 合併特別債事業 市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1工区)			
番号	9/23	横断図5	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じ立会い及び試掘を実施する。

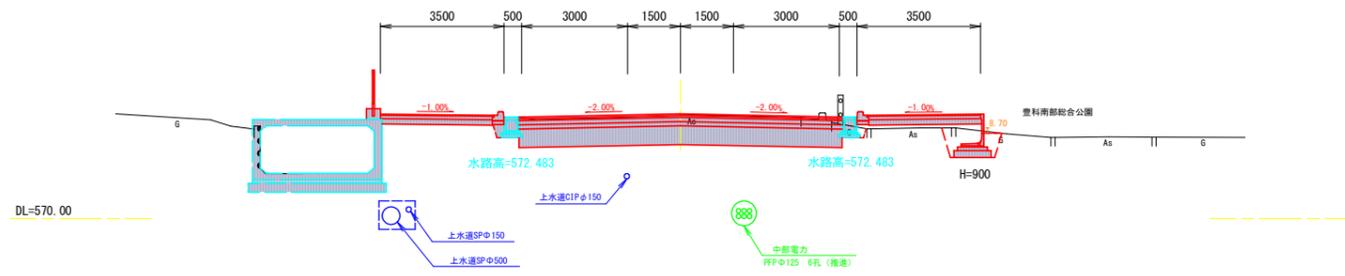
\*A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

# 横断図 B-3

縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

## BNO. 8+6.2 (P. 166. 2)

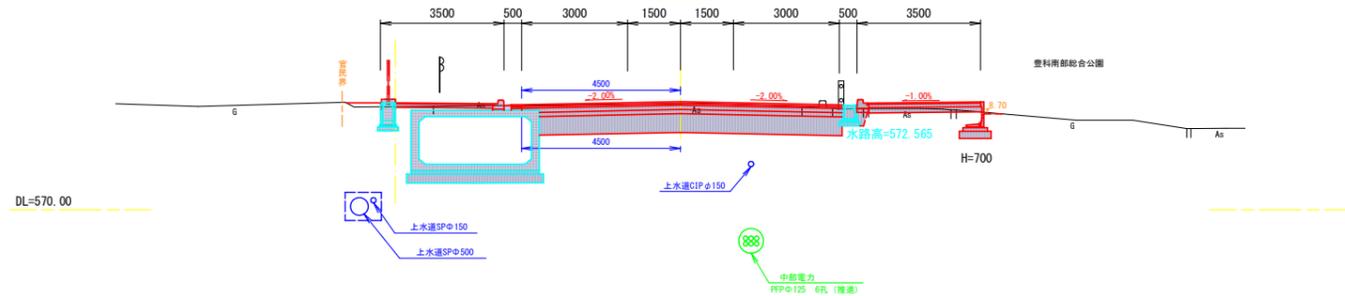
GH=572. 92  
FH=572. 965



測点	BNO. 8
区分	数量
C: 掘削	0.4m <sup>2</sup>

## BNO. 8 (P. 160. 0)

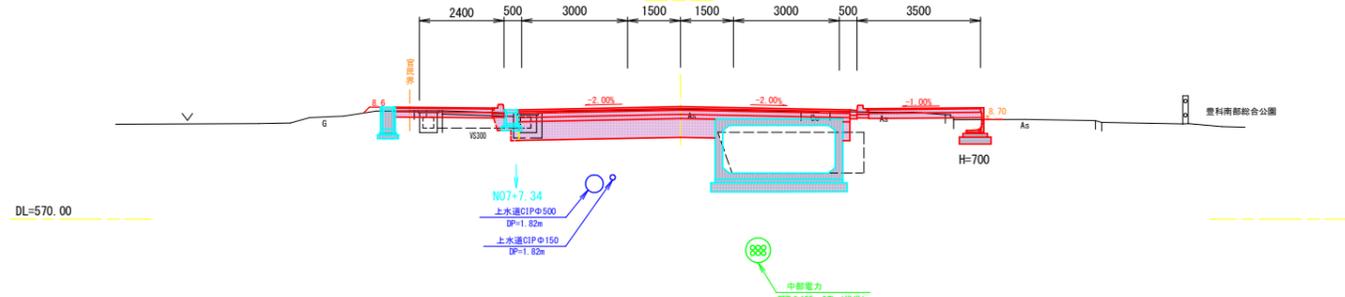
GH=573. 00  
FH=573. 057



測点	BNO. 7+7.9
区分	数量
C: 掘削	6.2m <sup>2</sup>
C: 床掘	0.4m <sup>2</sup>
R: 埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L: 舗装版取壊し	9.4m

## BNO. 7+7.9 (P. 147. 9)

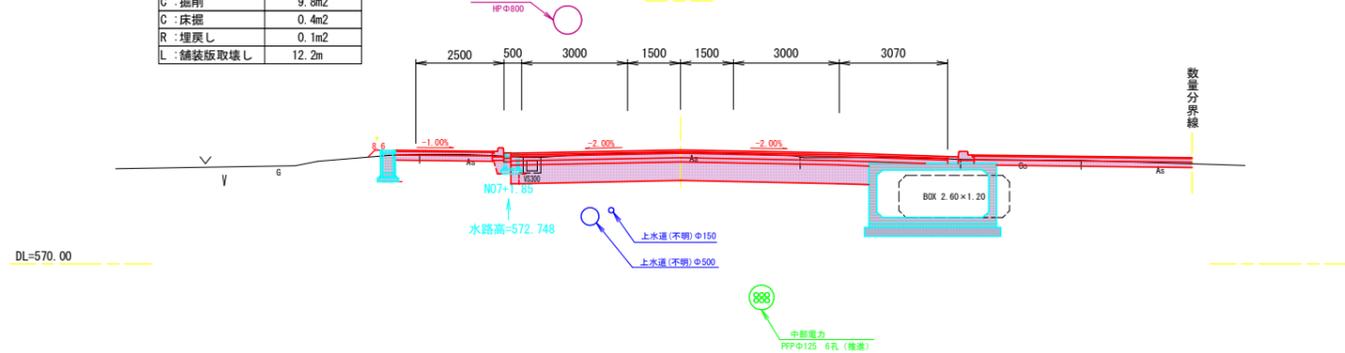
GH=573. 10  
FH=573. 186



測点	BNO. 7+1.7
区分	数量
C: 掘削	9.8m <sup>2</sup>
C: 床掘	0.4m <sup>2</sup>
R: 埋戻し	0.1m <sup>2</sup>
L: 舗装版取壊し	12.2m

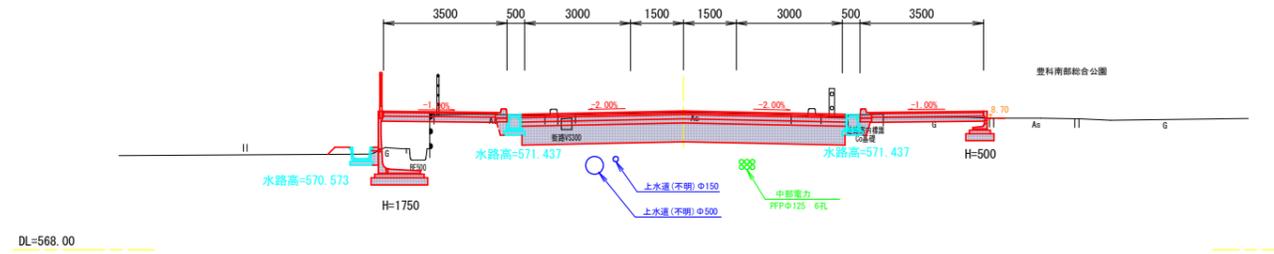
## BNO. 7+1.7 (P. 141. 7)

GH=573. 17  
FH=573. 231



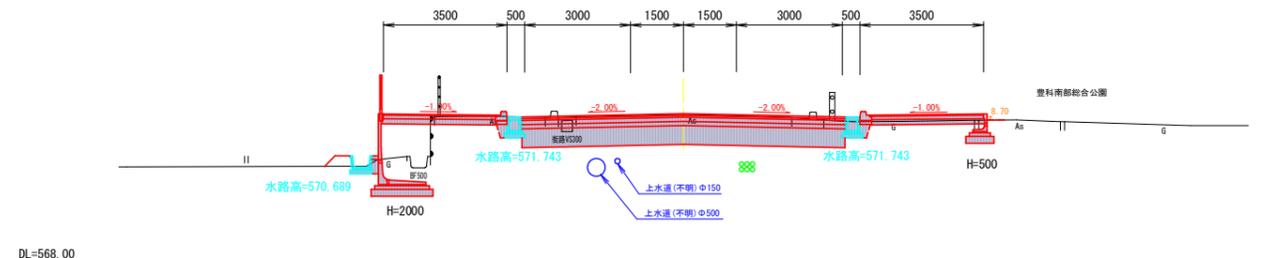
## BNO. 10+12.7 (P. 212. 7)

GH=571. 89  
FH=571. 919



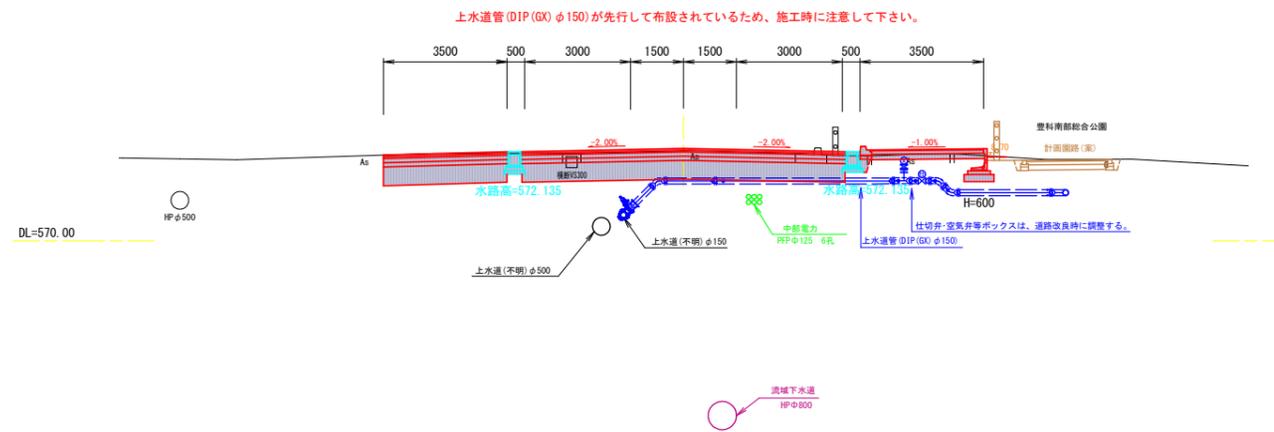
## BNO. 10 (P. 200. 0)

GH=572. 19  
FH=572. 205



## BSP1=N0. 9+3.76 (P. 183. 76)

GH=572. 55  
FH=572. 617



### 実施図

令和6年度	合併特例債事業	市道豊科2線3号線ほか道路改良工事(1工区)
番号	10/23	横断図6
市道豊科2線3号線ほか		縮尺
安曇野市 豊科		図示
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じ立会い及び試掘を実施する。

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

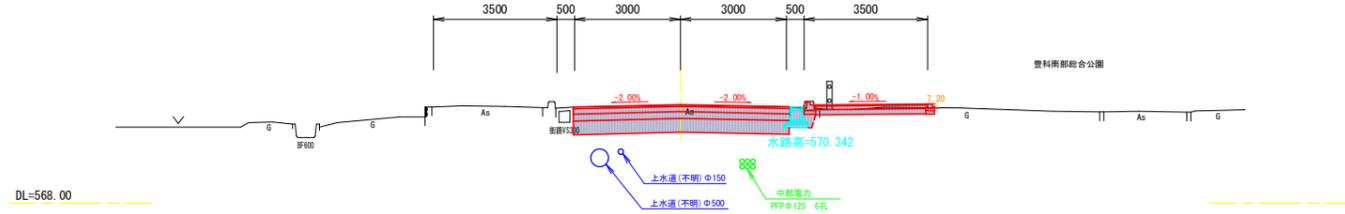
# 横断図 B-4

縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

(南北路線 豊科1級1号線)

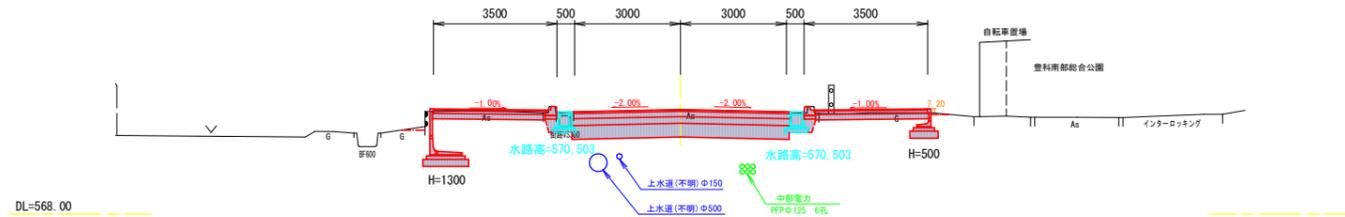
## BNO. 13 (P. 260. 0)

GH=570. 78  
FH=570. 794



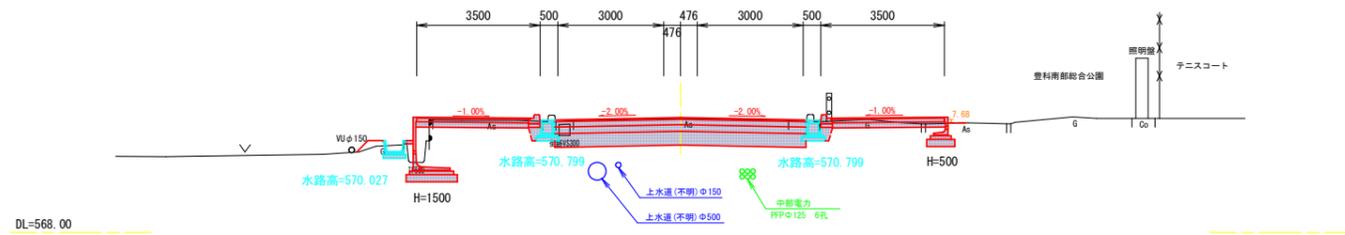
## BNO. 12+12. 7 (P. 252. 7)

GH=570. 95  
FH=570. 955



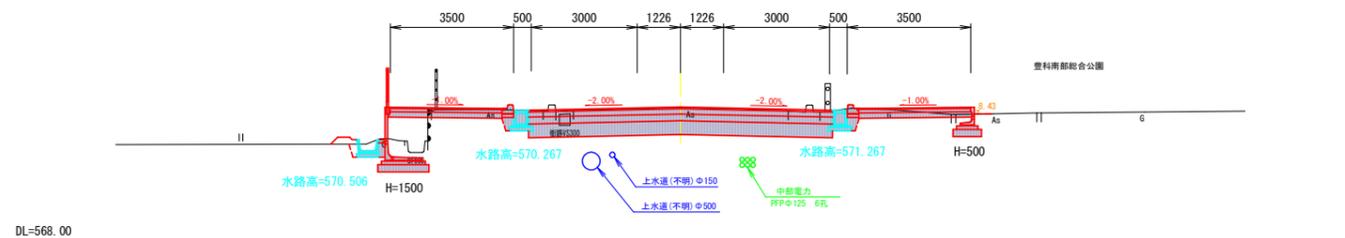
## BNO. 12 (P. 240. 0)

GH=571. 24  
FH=571. 260



## BNO. 11 (P. 220. 0)

GH=571. 72  
FH=571. 743



### 実施図

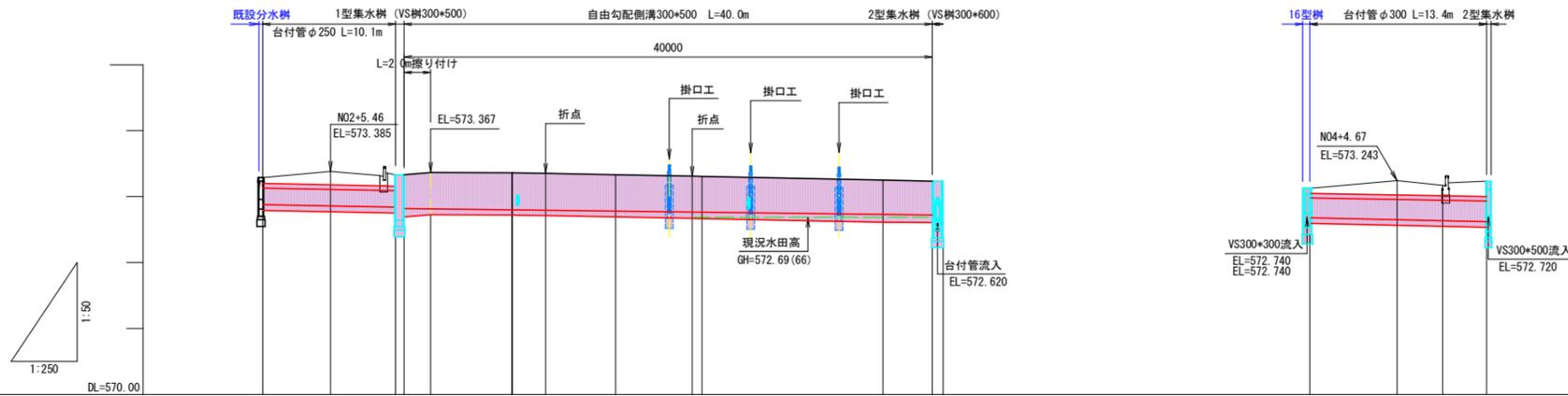
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2線3号線道路改良工事(1工区)			
番号	11/23	横断図7	縮尺 図示
市道豊科2線3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

\*地下埋設管は各管理者の台帳を基に記入しているため  
施工時には各管理者と十分打ち合わせを行い、  
必要に応じ立会い及び試掘を実施する。

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

2級3号線 (A路線)  
1級1号線 (B路線) 道路左側水路展開図 s: V=1:50  
H=1:250

2級3号線



勾配図															
砕石厚															
インバートコン厚さ		0.128	0.088						0.128	0.096	0.071				
計画水路高	572.870	572.854	572.840	572.820	572.815	572.800	572.793	572.780	572.765	572.755	572.729	572.720	572.590	572.578	
計画地盤高	573.289	573.385	573.332	573.332	573.367	573.369	573.353	573.332	573.311	573.306	573.252	573.234	573.234	573.247	
追加実距離	0.00	5.12	10.04	0.00	2.00						38.00	0.00	0.00	1.77	
実単距離	0.00	5.12	4.92	0.00	2.00	6.05	2.52	5.29	8.91	0.74	13.72	3.72	0.00	1.77	
測点	(ANO.9)+1.64	NO.2+5.46	NO.2+7.20	NO.2+7.20	NO.2+9.13	(AEC3) =NO.2+15.822	NO.2+17.50	(ANO.10) =NO.3+2.384	NO.3+8.15	NO.3+8.15	(ANO.11) =NO.4+2.586	NO.4+6.31	NO.4+7.14	(ANO.11)+6.30	(ANO.11)+8.886
曲線方向	KIP2 IA=9-52-14 R=160.00 L=13.816 S=27.364 SL=0.595														

**実施図**

令和5年度 合併特例債事業  
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1区)

番号 12/23 VS展開図 1 縮尺 図示

市道豊科2級3号線ほか  
安曇野市 豊科

設計会社  
測量会社  
調査会社

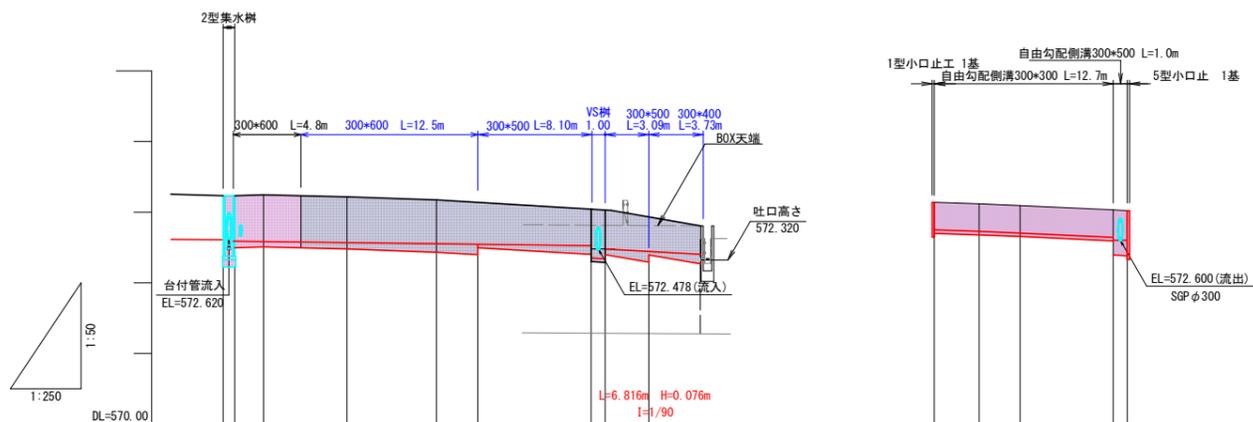
安曇野市

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

2級3号線(A路線)  
1級1号線(B路線) 道路左側水路展開図

2級3号線(A路線)

1級1号線(B路線)



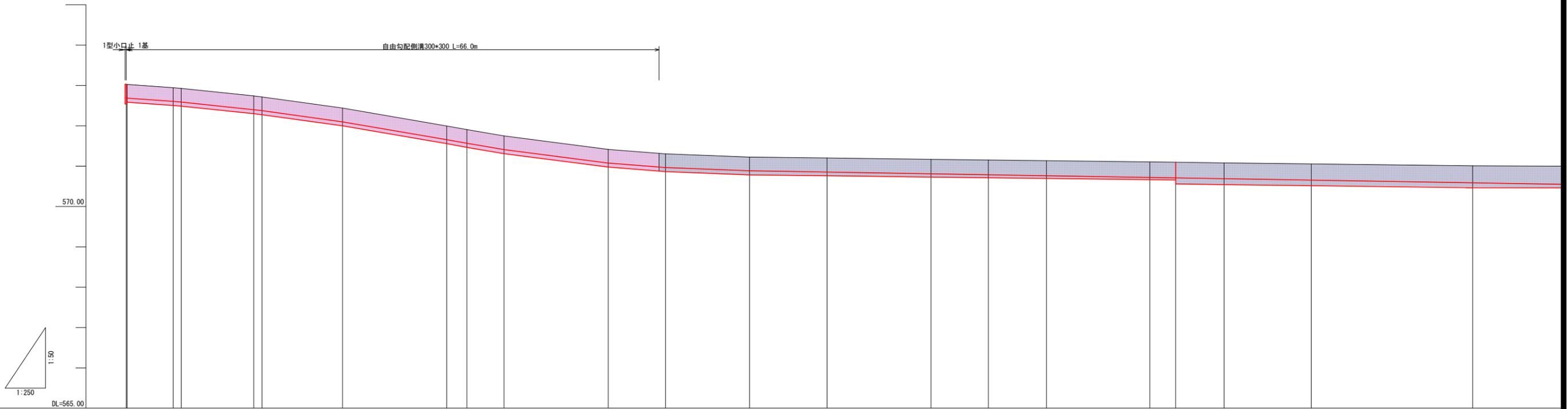
勾配図																						
碎石厚																						
インハートン厚さ	0.126	0.096	0.078	0.085	0.092	0.122	0.150	0.050	0.125	0.079	0.150	0.050	0.105	0.050	0.050	0.050	0.206	0.219				
計画水路高	572.720	572.590	572.585		572.570		572.554	572.547	572.526	572.476		572.370		572.748	572.726	572.704	572.642	572.44				
計画地盤高	572.234	572.234	572.247		572.217		572.172	572.547	572.070	572.022		572.895		572.138	572.116	572.094	572.032	572.022				
追加実距離	40.00	0.00	2.03	2.66	7.94	14.27			25.30	26.30	26.73		33.11	0.00	3.16	6.07	12.67	13.67				
実単距離	3.72	0.00	2.03		5.91	6.33	(2.97)		18.00	1.00	0.43	(3.09)	0.30	0.00			12.67	1.00				
測点	N04+6.31	N04+7.14	N04+9.17	N04+13.97	BK07+1.6	BK07+7.9			BK07+18.88	BK07+19.88	BK08+0.31			BK07+1.85	BK07+5.0	BK07+7.9	BK07+14.48	BK07+15.48				
曲線方向	曲り			曲り			曲り			S1P1 IA=8-26-35 RI=1980.000 TL= 146.149 CL= 291.768 SL= 5.386												

実施図

令和5年度	合併特例債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)
番 号	13/23	VS展開図 2
縮 尺		図示
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

2級3号線(A路線)道路左側水路展開図-3 S: V=1:50  
H=1:250

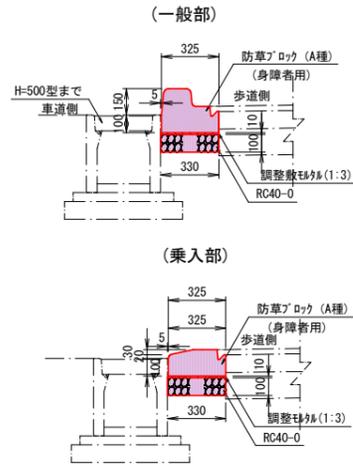


勾配図																						
砕石厚																						
インハートコン厚さ	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.080	0.079	0.072	0.065	0.055	0.051	0.146	0.136	0.118		
計画水路高	572.688	572.686	572.686	572.686	572.600	572.576	572.099	571.657	571.566	571.409	571.077	570.964	570.885	570.862	570.809	570.785	570.761	570.719	570.708	570.688	570.652	
計画地盤高	573.028	573.026	572.946	572.929	572.740	572.716	572.439	571.997	571.906	571.749	571.417	571.304	571.225	571.202	571.170	571.153	571.136	571.104	571.087	571.082	571.056	
追加実距離	0.00	0.10	5.80	6.80	15.80	16.80	26.80	39.70	42.20	46.80	59.70	66.00	66.80	77.20	86.80	99.70	106.80	114.00	126.80	130.00	146.80	
実単距離	0.00											66.00	7.10	10.40	9.60	12.90	7.10	7.20	12.80	3.20	6.00	10.80
測点	ANO.12+13.2 ANO.12+13.3	ANO.12+19.0 ANO.13	ANO.13+9.0 ANO.13+10.0		ANO.14		ANO.14+12.9 ANO.14+15.4	ANO.15		ANO.15+12.9		ANO.15+19.2 ANO.16	ANO.16+10.4	ANO.17	ANO.17+12.9	ANO.18	ANO.18+7.2	ANO.19	ANO.19+3.2	ANO.19+9.2	ANO.20	ANO.21
曲線方向																						

**実施図**

令和5年度 合併特別債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1工区)		
番号	14/23	VS展開図3	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

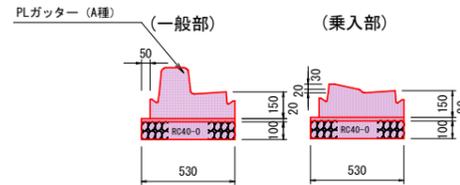
### 1型歩車道境界ブロック工 S=1:20



**材料表 (10.0m当り)**

基 礎A= 0.330\*10.0=3.3m<sup>2</sup>  
調整モルタルV= 0.325\*0.01\*10.0=0.03m<sup>3</sup>  
防草ブロックA種=16.5個

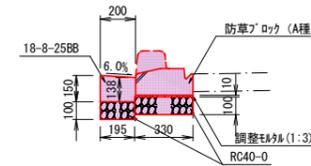
### 2型歩車道境界ブロック工 S=1:20



**材料表 (10.0m当り)**

基 礎A= 0.530\*10.0=5.3m<sup>2</sup>  
調整モルタルV= 0.53\*0.02\*10.0=0.11m<sup>3</sup>  
防草PLガッターA種=16.5個

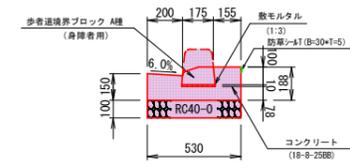
### 1型組合せL型側溝(巻込部) S=1:20



**組合せL型側溝 数量表 (10m当り)**

項目	単位	数量	摘要
コンクリート	m <sup>3</sup>	0.29	18-8-25BB
型 枠	m <sup>2</sup>	1.5	
基礎砕石	m <sup>2</sup>	5.3	RC40-0
モルタル	m <sup>3</sup>	0.03	1:3
ブロック	個	16.5	A種 L=0.6m

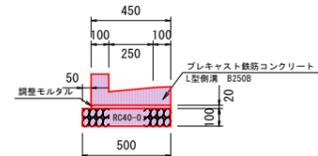
### 2型組合せL型側溝(巻込部) S=1:20



**組合せL型側溝(巻込部) 数量表(10m当り)**

項目	単位	数量	摘要
コンクリート	m <sup>3</sup>	0.71	18-8-25BB
型 枠	m <sup>2</sup>	3.4	
基礎砕石	m <sup>2</sup>	5.3	RC40-0
モルタル	m <sup>3</sup>	0.02	1:3
ブロック	個	16.5	A種 L=0.6m
防草シート	m	10.0	B=30*T=5

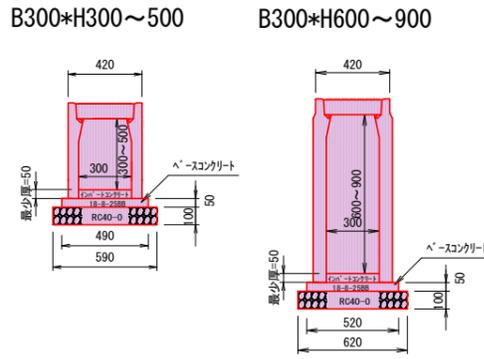
### プレキャストL型側溝 S=1:20



**プレキャスト鉄筋コンクリートL型側溝材料表 (10m当り)**

記号	基礎砕石 (m <sup>2</sup> )	調整モルタル (m <sup>3</sup> )	鉄筋コンクリートL型側溝B250B (個)
PL2-B250B	5.00	0.09	16.5

### 自由勾配側溝300型 S=1:20



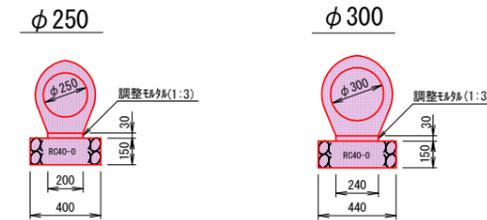
**材料表 (縦断用) 材料表 (10m当り)**

ヘースコンクリート (m <sup>3</sup> )	型 枠 (m <sup>2</sup> )	コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎材 (m <sup>2</sup> )	可変側溝 (本)
0.25	1.0	0.15	5.9	5

**材料表 (縦断用) 材料表 (10m当り)**

ヘースコンクリート (m <sup>3</sup> )	型 枠 (m <sup>2</sup> )	コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎材 (m <sup>2</sup> )	可変側溝 (本)
0.26	1.0	0.15	6.2	5

### 台付管構造図 S=1:20



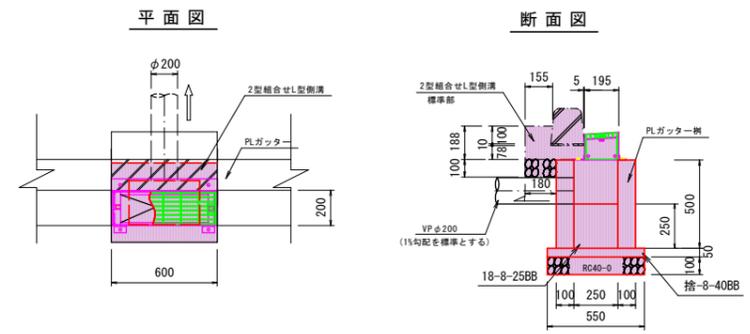
**材料表 10m当り**

名称	規格	単位	数量
バイコン台付管	φ250型	個	5
調整モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.06
基礎砕石	RC40-0(15cm)	m <sup>2</sup>	4.0

**材料表 10m当り**

名称	規格	単位	数量
バイコン台付管	φ300	個	5
調整モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.07
基礎砕石	RC40-0(15cm)	m <sup>2</sup>	4.4

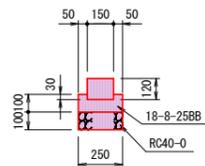
### 1型街渠柵 S=1:20



**1型街渠柵材料表**

種別	渠水柵 (蓋)	PLガッター柵 H=500型 (蓋)	基礎砕石 (m <sup>2</sup> )	インバート (m <sup>2</sup> )	推シネット (m <sup>2</sup> )	推シ型枠 (m <sup>2</sup> )	VP200 (m)	ブロックA種 (個)
1	10	10	3.85	0.25	0.27	1.25	4	10
2	10	10	3.85	0.25	0.27	1.25	23	10
3	10	10	3.85	0.25	0.27	1.25	30	10
4	10	10	3.85	0.25	0.27	1.25	31	10

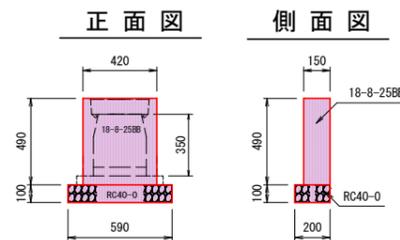
### 地先境界ブロックB種 S=1:20



**(10m当り)**

コンクリート (m <sup>3</sup> )	型 枠 (m <sup>2</sup> )	基礎砕石 (m <sup>2</sup> )	ブロックB種 (個)
0.21	2.0	2.5	16.5

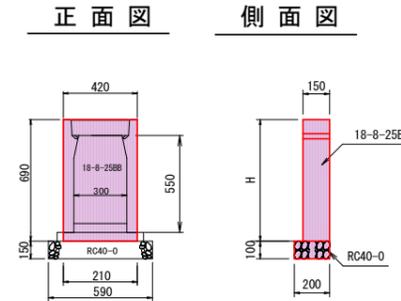
### 1型小口止 S=1:20



**材料表 (1基当り)**

コンクリート= 0.42\*0.49\*0.15=0.03m<sup>3</sup>  
型 枠= 0.49\*0.42\*0.30\*0.35\*0.15\*0.49\*2=0.5m<sup>2</sup>  
基 礎= 0.59\*0.20=0.1m<sup>2</sup>

### 5型小口止 S=1:20



**材料表 (1基当り)**

コンクリート= 0.42\*0.69\*0.15=0.04m<sup>3</sup>  
型 枠= 0.69\*0.42\*0.30\*0.55\*0.15\*0.69\*2=0.7m<sup>2</sup>  
基 礎= 0.59\*0.20=0.1m<sup>2</sup>

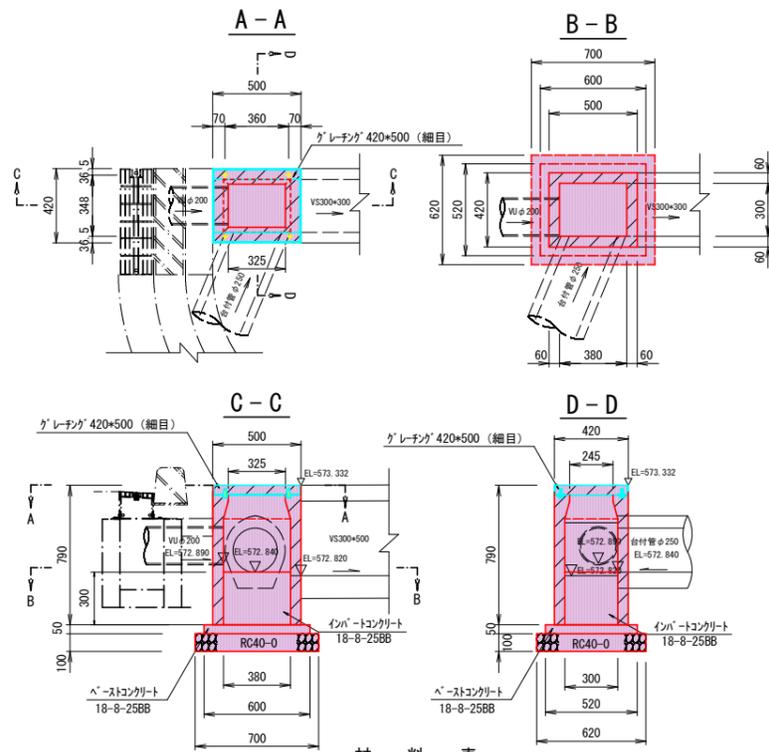
### 実施図

令和5年度	合併特別債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)
番号 15/23	構造図 1	縮 尺 図 示
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

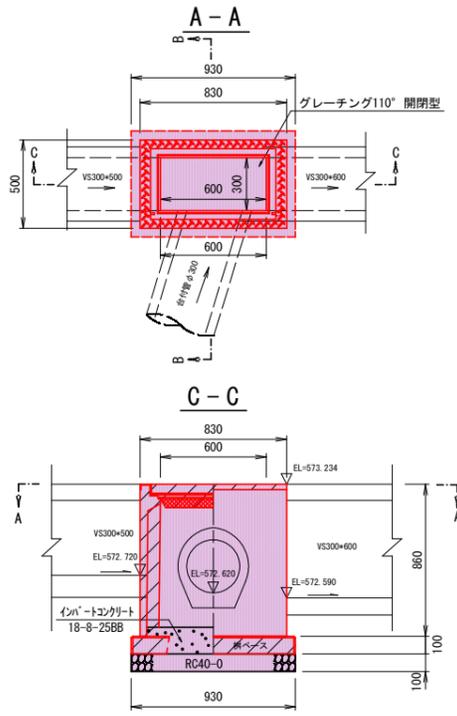
# 1型集水樹 S=1:20

# 2型集水樹 S=1:20



材料表

インバートコンクリート=0.38+0.30+0.30+0.03m<sup>3</sup>  
 ベースコンクリート=0.60+0.52+0.05=0.02m<sup>3</sup>  
 型枠=(0.60+0.52)+2+0.05=0.12m<sup>2</sup>  
 基礎=0.70+0.62=0.43m<sup>2</sup>  
 マルチ樹=300×500用=1基(参考重量174kg)  
 グレーティング=420×500用(細目)-1組

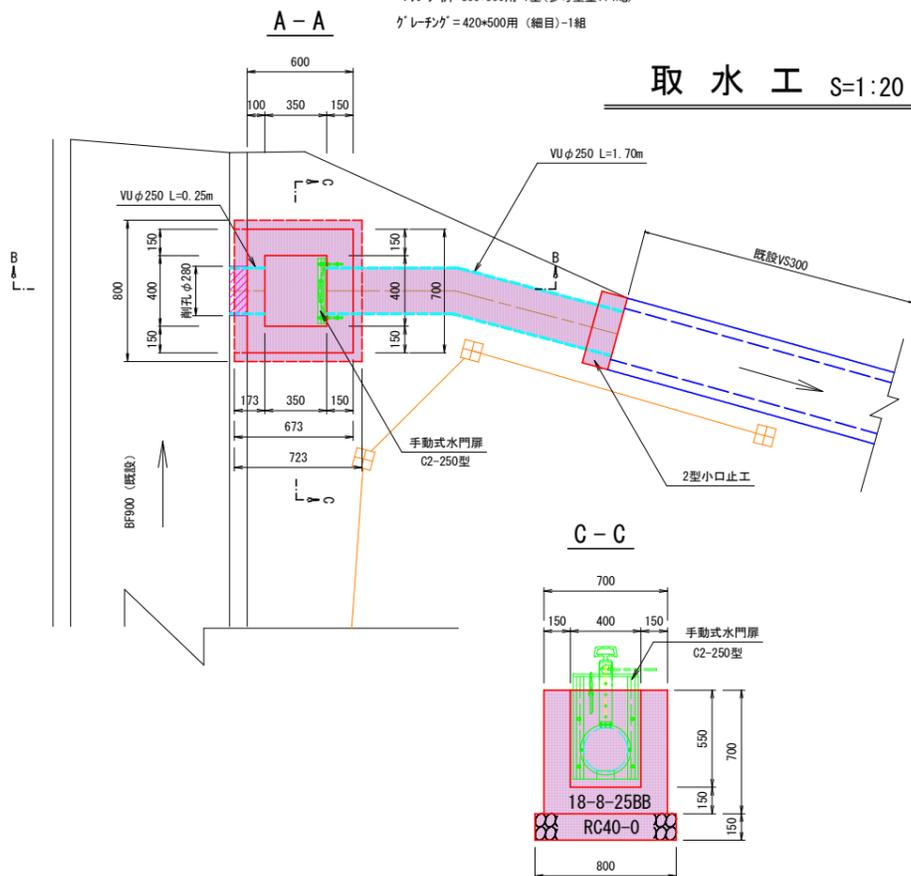


材料表

名称	規格	単位	数量	備考
VS樹	300×600×800	基	1	
樹ベース	300×600用	枚	1.00	
基礎砕石	RC-40 t=100	m <sup>2</sup>	0.58	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m <sup>3</sup>	0.03	
グレーティング蓋	300×600用	組	1	110° 閉閉細目

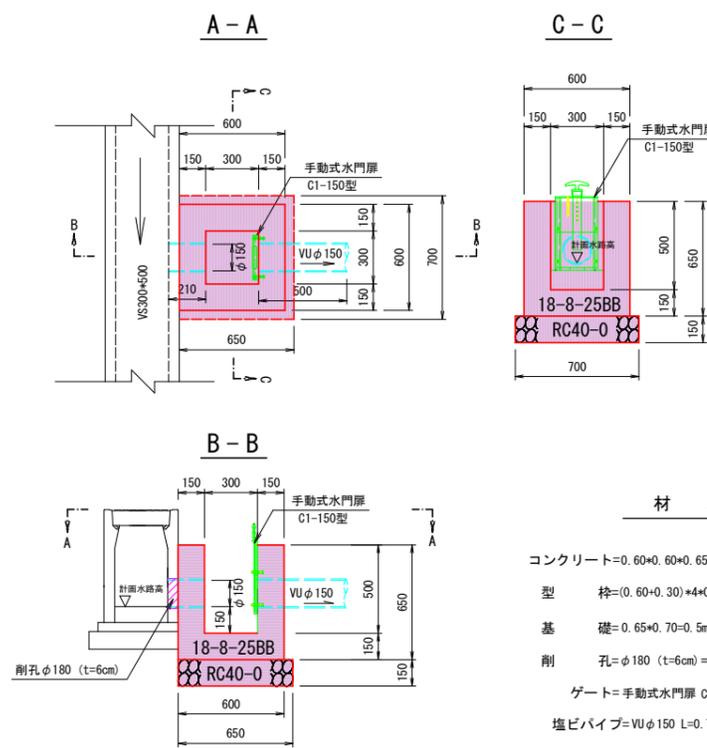
# 掛口工 S=1:20

# 取水工 S=1:20



材料表

コンクリート=0.11+0.70+0.70+0.50+0.70+0.35+0.55+0.40-1/4π+0.276+0.276\*(0.16+0.15)=0.23m<sup>3</sup>  
 型枠=0.11+2+0.50+0.70+2+0.70+0.70\*(0.40+0.35)+2\*0.70-1/4π+0.267+0.267+3=2.3m<sup>2</sup>  
 基礎=0.80+0.723=0.6m<sup>2</sup>  
 剛孔=φ280 (t=8cm)=1個所  
 ゲート=手動式水門扉 C2-250型-1基  
 塩ビパイプ=VUφ250 L=2.0m



材料表

コンクリート=0.60+0.60+0.65+0.30+0.30+0.50-(1/4π+0.165+0.165)\*2+0.15=0.18m<sup>3</sup>  
 型枠=(0.60+0.30)+4+0.65-(1/4π+0.165+0.165)\*4=2.3m<sup>2</sup>  
 基礎=0.65+0.70=0.5m<sup>2</sup>  
 剛孔=φ180 (t=6cm)=1個所  
 ゲート=手動式水門扉 C1-150型-1基  
 塩ビパイプ=VUφ150 L=0.7m

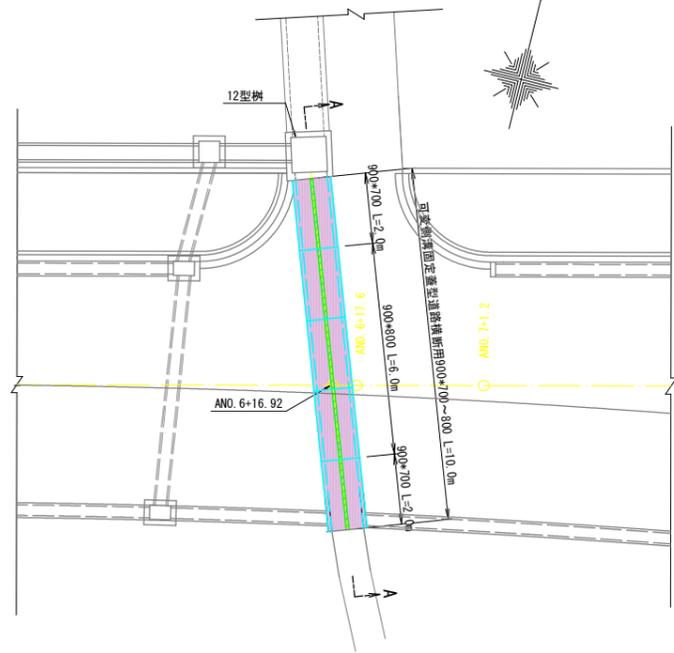
# 実施図

令和5年度 合併特例債事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)			
番号	16/23	縮尺	図示
構造図2			
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

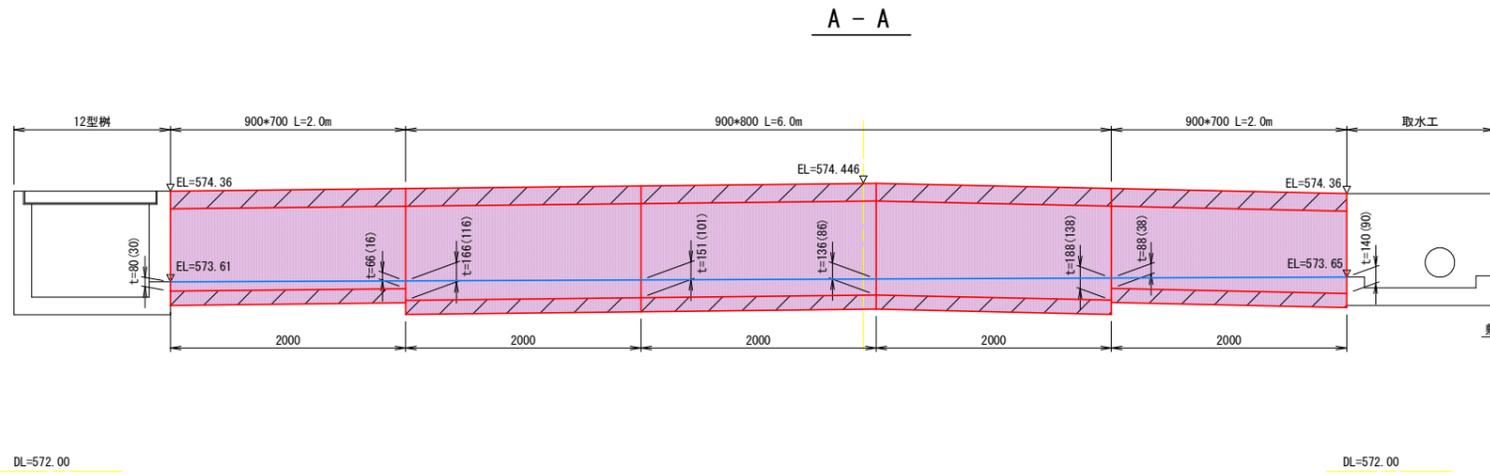
※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。

ANO. 6+16. 92横断工構造展開図 S=図示

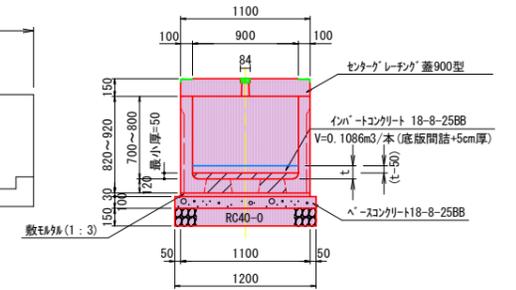
平面図 S=1:100



縦断面図 S=1:30



可変側溝固定蓋型道路横断用 S=1:30  
(900×700・800)



材料表 (道路横断用)

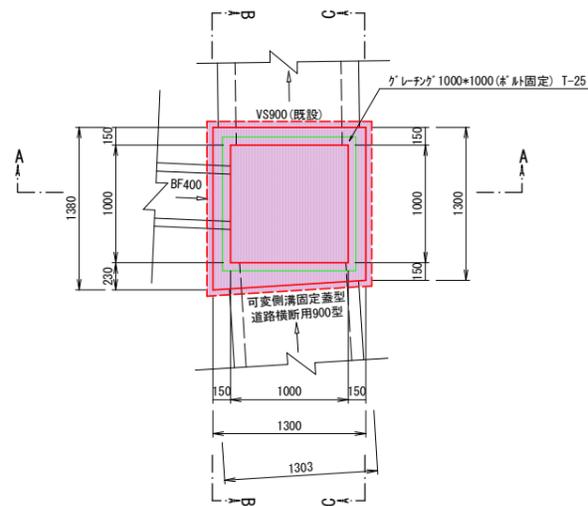
材料表 (10m当り)					
インパ-トコンクリート (m3)	型枠 (m2)	敷モルタル (m3)	基礎材 (m3)	可変側溝固定蓋型 (本)	センターグレーチング蓋900型 (枚)
1.2	2.0	0.33	1.2	5	5

インパ-トコンクリートV= [(0.030+0.016)\*1/2+2.0+(0.116+0.101)\*1/2+2.0+(0.101+0.086)\*1/2+2.0+(0.086+0.138)\*1/2+2.0+(0.038+0.090)\*1/2+2.0]+0.90+0.1086+5=1.26m3

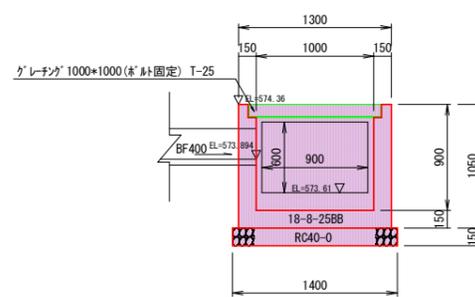
12型柵 S=1:30

(2級3号ANO. 6+16. 92L)

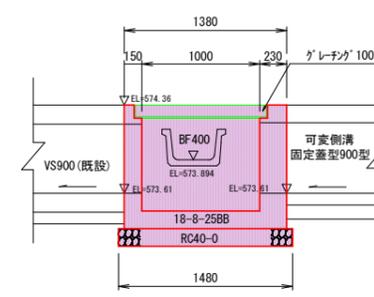
平面図



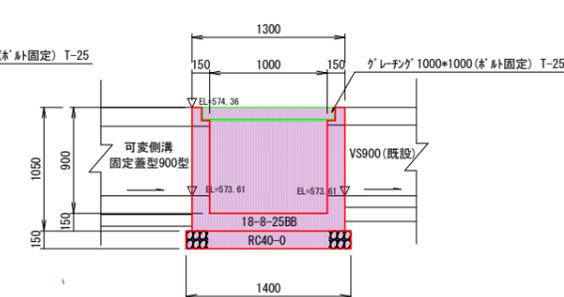
A - A



B - B



C - C



材料表

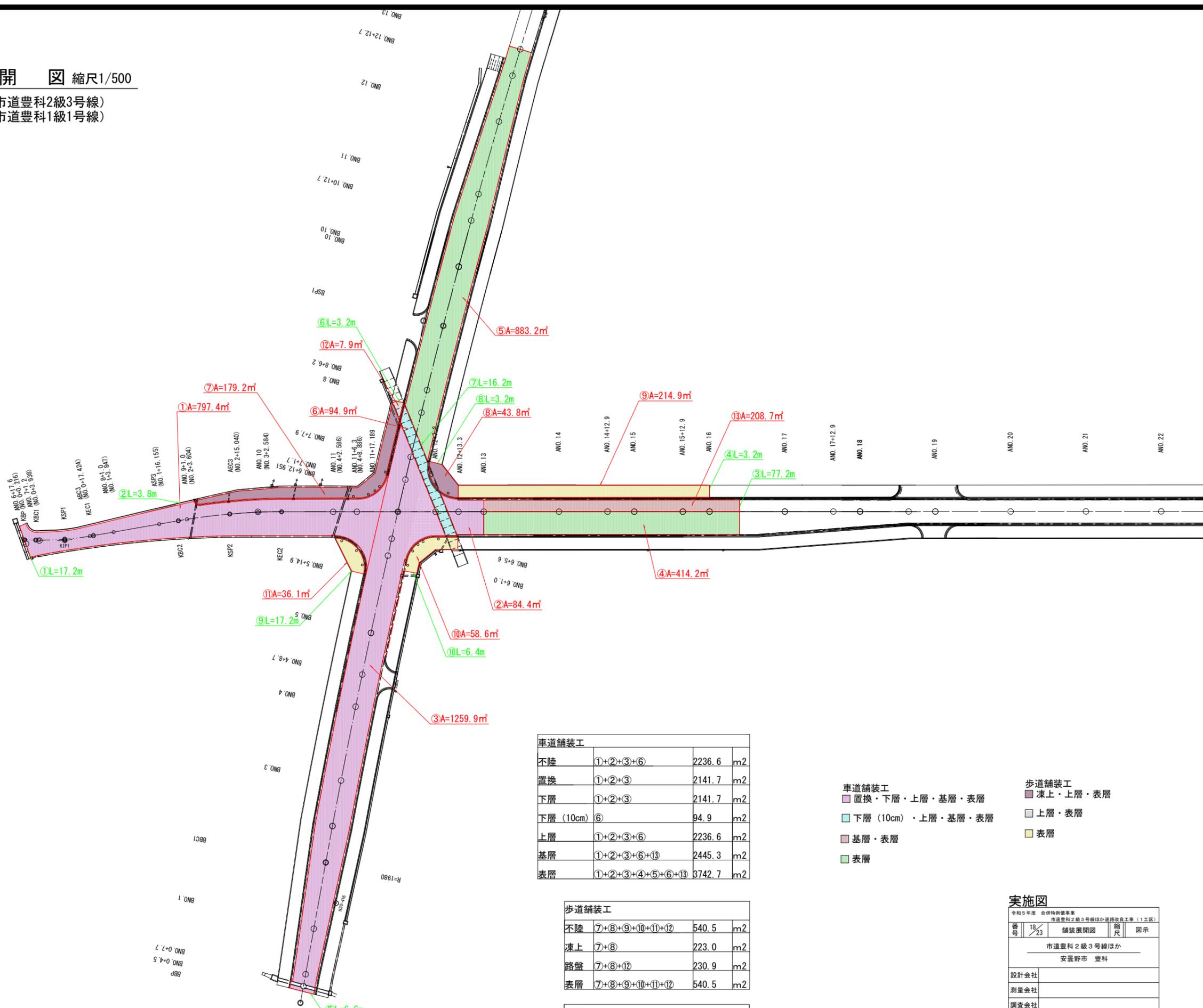
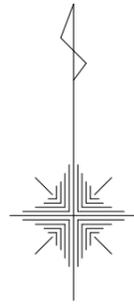
コンクリート= (1.38+1.30)\*1/2+1.30+1.05-1.00+1.00+0.90-0.153+0.15  
-0.90+0.60+0.15+2-0.0675+0.112\*(1.135+2+1.00+2)=-0.71m3  
型枠= (1.30+2+1.303+1.38+1.00+4)+1.05-0.153+2-0.90+0.60+4=7.3m2  
基礎= (1.48+1.40)\*1/2+1.40=2.0m2  
グレーチング=1000\*1000(※1固定) T-25 =1組

実施図

令和5年度	合併特例債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1工区)
番号 17/23	構造図3	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

舗装展開図 縮尺1/500

東西路線 (市道豊科2級3号線)  
南北路線 (市道豊科1級1号線)



工種	区画	面積	単位
不陸	①+②+③+⑥	2236.6	m <sup>2</sup>
置換	①+②+③	2141.7	m <sup>2</sup>
下層	①+②+③	2141.7	m <sup>2</sup>
下層 (10cm)	⑥	94.9	m <sup>2</sup>
上層	①+②+③+⑥	2236.6	m <sup>2</sup>
基層	①+②+③+⑥+⑬	2445.3	m <sup>2</sup>
表層	①+②+③+④+⑤+⑥+⑬	3742.7	m <sup>2</sup>

工種	区画	面積	単位
不陸	⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫	540.5	m <sup>2</sup>
凍上	⑦+⑧	223.0	m <sup>2</sup>
路盤	⑦+⑧+⑫	230.9	m <sup>2</sup>
表層	⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫	540.5	m <sup>2</sup>

区画	長さ	単位
①~⑩	154.2	m

- 車道舗装工
- 置換・下層・上層・基層・表層
  - 下層 (10cm)・上層・基層・表層
  - 基層・表層
  - 表層

- 歩道舗装工
- 凍上・上層・表層
  - 上層・表層
  - 表層

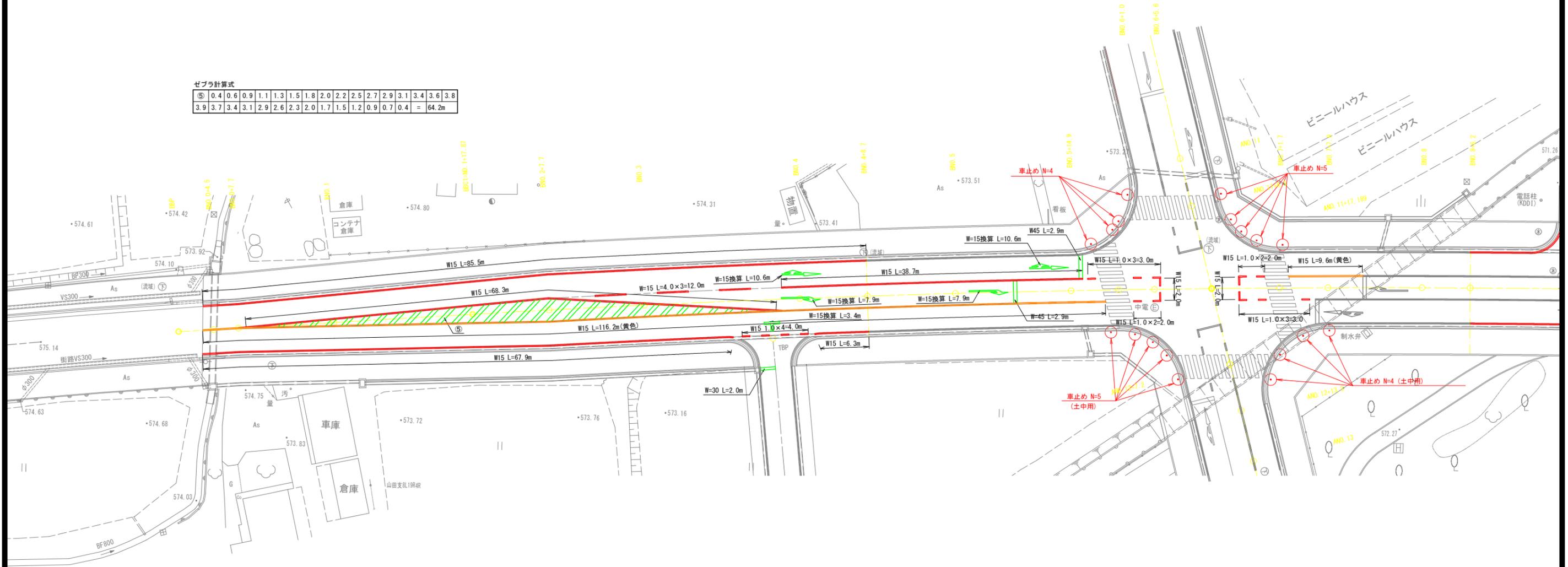
実施図

令和5年度 合併特例債事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1工区)			
番号	18/23	舗装展開図	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			



ゼブラ計算式

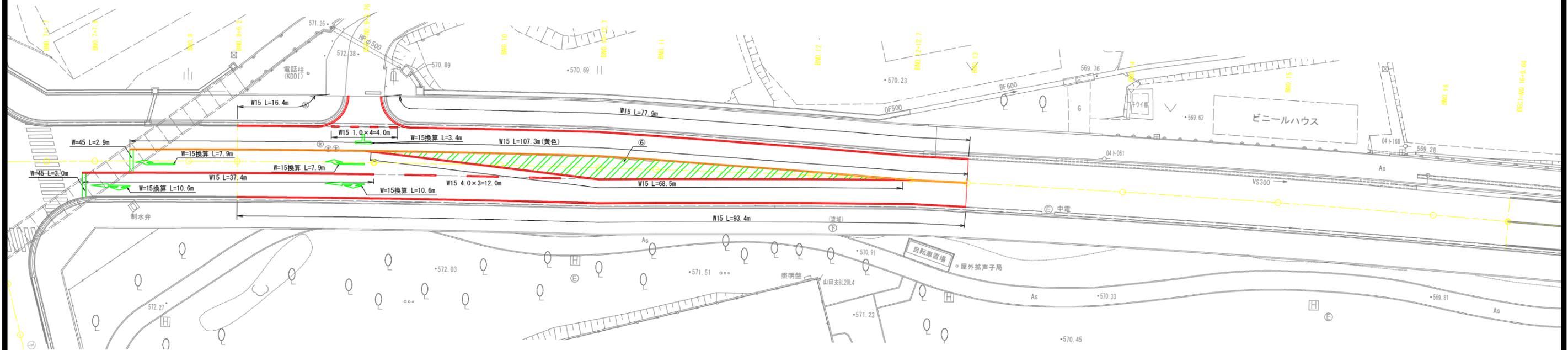
⑤	0.4	0.6	0.9	1.1	1.3	1.5	1.8	2.0	2.2	2.5	2.7	2.9	3.1	3.4	3.6	3.8
3.9	3.7	3.4	3.1	2.9	2.6	2.3	2.0	1.7	1.5	1.2	0.9	0.7	0.4	=	64.2m	



実施図

令和6年度	合併特別債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1区)
番号	20/23	区画線展開図2
縮尺		図示
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
安曇野市		

※A3の縮尺はA1を50%で印刷した場合に限ります。



ゼブラ計算式

⑥	0.4	0.8	1.1	1.4	1.8	2.1	2.4	2.8	3.1	3.4	3.7	3.5	3.3	3.1	2.9
	2.7	2.5	2.3	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	1.1	0.9	0.7	0.5	0.3	=	55.3m

区画線数量表

区画線数量内訳表							
路面標示	幅 (cm)	2級3号線 (区画線展開図-1)	小計	1級1号線 (区画線展開図-2・3)	小計	合計	
実線	外側線	15	128.3+136.2+73.3+89.4+80.3+35.1	542.6	85.5+67.9+6.3+16.4+77.9+93.4	347.4	890.0
	中央線	15	40.3+40.2+26.8+25.0+44.6+45.0+60.3+80.0	362.2	68.3+38.7+68.5+37.4	212.9	575.1
	中央線(黄)	15			116.2+9.6+107.3	233.1	233.1
	ゼブラ	45	7.2+6.2+16.4+55.3	85.1	64.2+55.3	119.5	204.5
	横断歩道	45	35.8+37.4+36.5+34.9	144.6			144.6
	停止線	30	1.5	1.5	2.0	2.0	3.5
	停止線	45	3.1+3.0+2.9+2.9	11.9	2.9+2.9+2.9+3.0	11.7	23.6
	T字マーク	15			3.4×2	6.8	6.8
	直進左折矢印	15	10.6+10.6+10.6	31.8	10.6+10.6+10.6+10.6	42.4	74.2
	右折矢印	15	7.9+7.9+7.9	23.7	7.9+7.9+7.9+7.9	31.6	55.3
減速マーク	15	8.5×5	42.5			42.5	
破線	外側線	15		4.0+4.0	8.0	8.0	
	中央線	15	8.0+16.0	24.0	12.0+12.0	24.0	48.0
	右折道流線	15	3.0+2.0+2.0+2.0+2.0+3.0	12.0	3.0+2.0+2.0+2.0+2.0+3.0	12.0	24.0
車止めポスト	構造物用(L=950mm)	4+5+4+5				18	

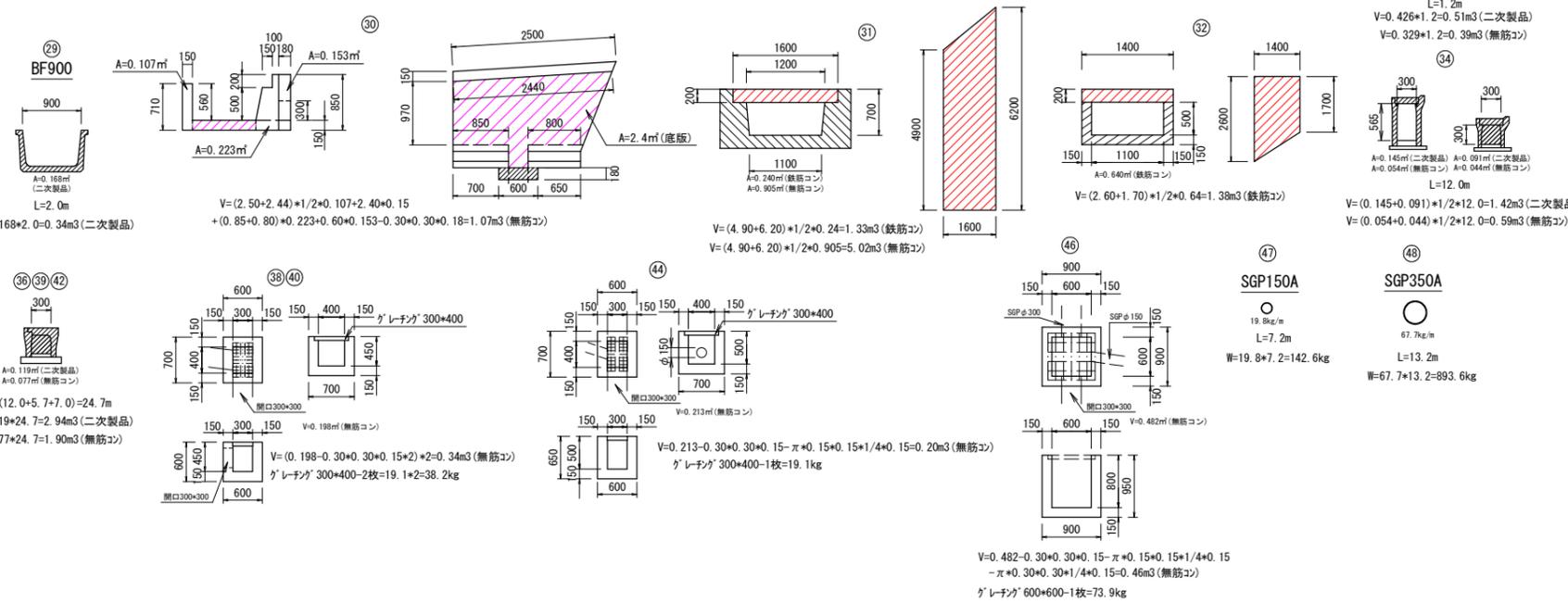
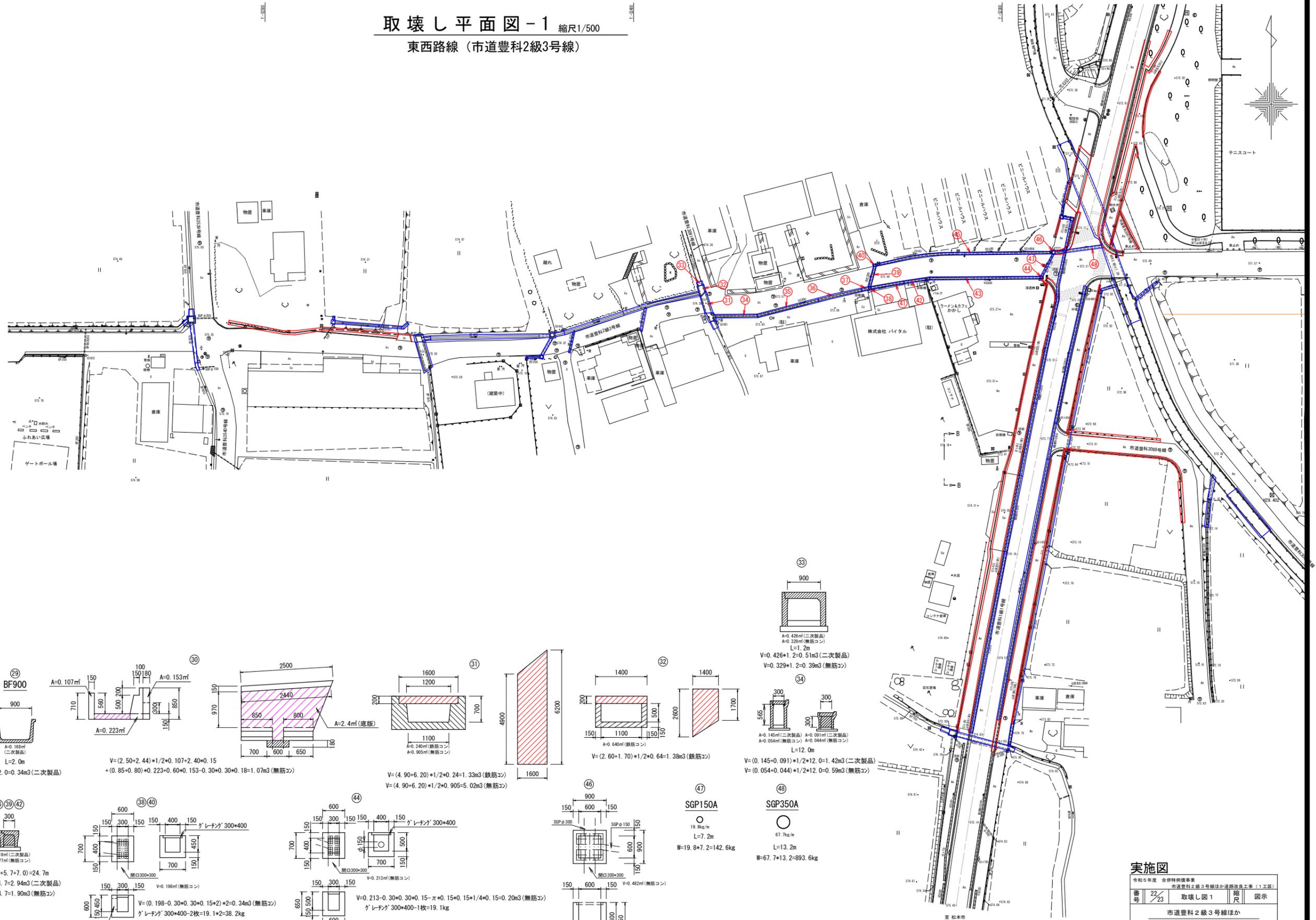
名称・規格・仕様	路面標示	計算	合計
ペイント式 W15 実線	外側線	890.0	890.0
ペイント式 W15 破線	外側線	8.0	8.0
溶融式 W15 実線	中央線	575.1	575.1
溶融式 W15 実線(黄)	中央線	233.1	233.1
溶融式 W15 破線	中央線・右折導流線	48.0+24.0	72.0
溶融式 W30 実線	停止指線	3.5	3.5
溶融式 W45 実線	停止線	23.6	23.6
溶融式 W45 (ゼブラ) 実線	ゼブラ・横断歩道	204.5+144.6	349.1
溶融式 W15 実線 矢印・記号・文字	直進左折・右折・減速マーク	6.8+74.2+55.3+42.5	178.8

実施図

令和5年度 合併特例債事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1区)			
番号	21/23	区画線展開図3	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

# 取壊し平面図-1 縮尺1/500

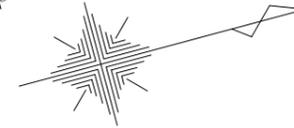
## 東西路線 (市道豊科2級3号線)



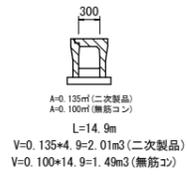
実施図			
令和5年度 合併特例債事業			
市道豊科2級3号線ほか道路改良工事 (1工区)			
番号	22/23	取壊し図1	縮尺 図示
市道豊科2級3号線ほか			
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社	安曇野市		

# 取壊し平面図 - 2 縮尺1/500

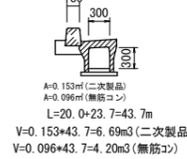
南北路線 (市道豊科1級1号線)



⑭ 横断VS300



⑬⑭ 街路VS300



⑬ 横断VS300



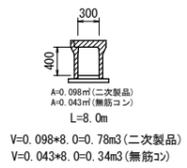
⑮⑯ 組合せL型側溝



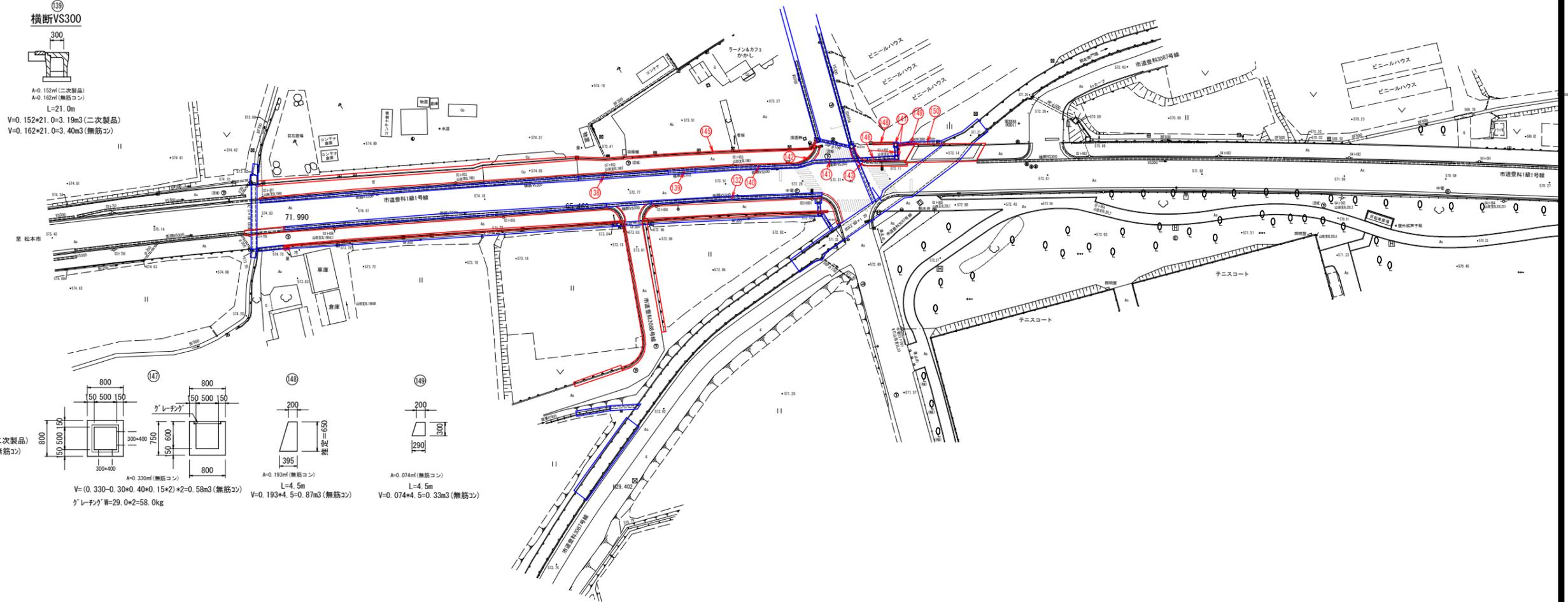
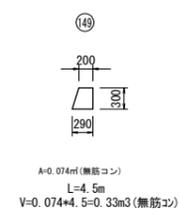
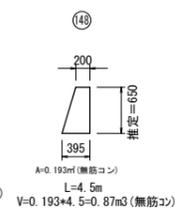
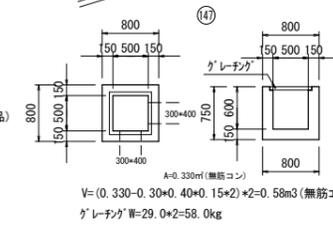
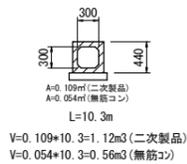
⑰ VS300



⑱ VS300



⑲ BOX300×300



## 実施図

令和5年度	合併特例債事業	市道豊科2級3号線ほか道路改良工事(1工区)
番号	23/23	取壊し図2
縮尺	1/500	図示
市道豊科2級3号線ほか		
安曇野市 豊科		
設計会社		
測量会社		
調査会社	安曇野市	